



(マイクロ
コマ番号)

太政類典第一編第一巻索引

制度

詔勅

- 0031 一在京諸使ニ詔シテ同心協力國事ノ勉メ
シム 元年九月廿四日 一
- 0034 一海内ニ詔シテ洪業ヲ紹述シ蒼生ヲ安撫
セント欲スルヲ告諭シ各私見ヲ去ラ公
義ニ遵ハレム 元年九月廿四日 二
- 0036 一江戸ヲ東京ト稱ス 元年九月廿七日 三
- 0038 一奥羽ノ民人ニ諭シ速ニ其方向ヲ定メシ
ム 元年九月廿四日 四
- 0040 一東陸百官有司ニ詔シ鴻業ヲ翼賛シ可否
ヲ献替セシム 元年十月廿四日 五
- 0041 一詔シテ氷川神社ヲ以テ武藏國ノ鎮守ト
ナス 元年十月 六
- 0042 一政治百官將士ニ詔シテ之ヲ獎勵ス 二年正月廿四日 七
- 0043 一詔シテ廣澤參議時秋ノ賊ヲ天下ニ索ム 四年二月廿五日 八
- 0044 一詔シテ藩ヲ廢シ縣ヲ置キ政令多岐ノ憂
ナカラシム 四年二月廿五日 九
- 0045 一宸翰ヲ薩長ニ藩ニ下シ藩主ヲ京ニ召ス 五年二月廿四日 十
- 0046 一徳大寺實則嵯峨壇院ノ國事諮詢ノ御沙
汰書ヲ賜フ 四年七月廿四日 十一
- 0047 一島津久光毛利敬親ニ詔シ皇業ヲ贊成セ
シメ岩倉具親ヲ遣ハシ旨ヲ兩家ニ傳ヘ
シム 五年五月 十二
- 0049 一廢藩置縣ニ際シ鹿児島山崎佐賀島知ノ
旨ヲ傳ヘシム 四年七月廿四日 十三

(マイクロ
コマ番号)

- 0050 一四藩知事ニ詔シ聖意ヲ體シテ翼賛スル
所アラシム 四年七月廿四日 十四
- 0054 一東巡逢次藤原藤房ノ誠志ヲ追感シ全幣
ヲ其遺跡妙威寺ニ賜フ 元年九月廿四日 十五
- 0055 一三條實滿ノ忠狀ヲ嘉シ追誼シテ志成ト
曰フ 二年五月廿七日 十六
- 0056 一勅シテ大石良雄ヲ追賞シ全幣ヲ賜フ 元年五月廿五日 十七
- 0057 一故兵部大輔大村永敏ヲ弔シ贈位賜幣ヲ
宣ス 二年五月廿五日 十八
- 0058 一故參議正四位廣澤真臣ヲ弔シ贈位賜金
ヲ宣ス 四年五月廿九日 十九
- 0059 一故從二位鍋島直正ヲ弔シ贈位ヲ宣ス 四年五月廿九日 二十
- 0060 一故從二位毛利敬親ヲ弔シ贈位ヲ宣ス侍
從坂川康隆ニ辨官ノ心得ヲ以テ勅使ノ
事ヲ行ハシム 四年五月廿九日 廿一
- 0063 一毛利元徳ニ詔シ父敬親ノ遺志ヲ繼キ禪
補スル所アラシム 四年四月廿四日 廿二
- 0064 一毛利敬親ノ鞠躬盡力ヲ褒シ尚之ヲ獎勵
ス 元年六月廿四日 廿三
- 0065 一毛利敬親ノ勅シテ筆下ニ滞在セシム 五年六月廿四日 廿四
- 0066 一毛利敬親ニ勅シ大業ヲ贊成シ諸藩ノ標
準ヲラシム 五年十月廿五日 廿五
- 一萬機親裁ノ旨ヲ各國帝王及其臣民ニ告
ス 元年五月十日

マイクロ
コマ番号

- 一 総裁職仁親王へ軍事御委任ノ勅語任計 元年九月
- 一 公工大總督トシテ發遣セシムル勅語上 元年九月
- 一 英公使ハルリーパークスへ勅語外交 元年九月
- 一 議政官吏官議上リ奏狀詔制審斷ノ三牒ヲ設ケ及ヒ政記ヲ編輯セシムル請フ之ヲ採納シ行政官モ亦本議ニ準効セシム官規 元年九月
- 一 改元ノ詔水門 元年八月
- 一 武藏國大宮驛氷川神社ヲ勅祭ノ社ト定ムルノ詔法社 元年八月
- 一 總督正親町公董へ御慰勞ノ勅語任計 元年七月
- 一 大總督官御感賞ノ勅語上 元年七月
- 一 總督嘉彰親王御感賞ノ勅語上 元年七月
- 一 伊藤蘭三公使へ勅語外交 元年七月
- 一 英米獨三公使へ勅語上 元年七月
- 一 松平容保ヲ寬典ニ處スル旨ヲ百官將士ニ告クルノ詔罪赦 元年七月
- 一 公議所開局ノ詔刑集 元年四月
- 一 百官群臣ニ可否ヲ獻替セシムルノ詔上 元年四月
- 一 三條實美ニ修史總裁ヲ命スルノ詔官規 二年四月
- 一 三職公選ノ詔官制 二年五月
- 一 外國交際上獨立自主ノ體裁確立ノ意見 二年五月

マイクロ
コマ番号

- 一 勅問外交 元年六月
- 一 有功者賞賜ノ詔任計 元年六月
- 一 鍋島直正ニ開拓事務ヲ命スルノ詔地方 元年六月
- 一 供御ノ戒ニ救助ニ充ワルノ詔保民 元年六月
- 一 松前脱離賊徒征討有功者賞賜ノ詔任計 元年九月
- 一 復古功臣賞賜ノ詔功賞 元年九月
- 一 慶喜以下寬典ニ處スルノ詔治罪 元年九月
- 一 澳國公使へ勅語外交 元年九月
- 一 米國新舊公使へ勅語上 元年九月
- 一 天神地祇及皇室鎮祭ノ詔法 元年九月
- 一 鎮祭ノ詔上 元年九月
- 一 西班牙國代理公使へ勅語外交 元年七月
- 一 伊英兩國公使へ勅語上 元年七月
- 一 和蘭辭理公使へ勅語上 元年七月
- 一 丁林國使節へ勅語上 元年八月
- 一 米國全權公使及全國前執政へ勅語上 元年九月
- 一 伊國特派全權公使へ勅語上 元年九月
- 一 白丹義國特派全權公使へ勅語上 元年九月
- 一 蘭醫ホードインへ勅語上 元年九月
- 一 新律細領頒布ノ詔刑律 元年九月
- 一 大教宣布ノ詔教法 元年九月
- 一 獨國代理公使へ勅語外交 元年九月
- 一 英國全權公使へ勅語上 元年九月
- 一 米國特派全權公使へ勅語上 元年九月

マイクロ番号

- 0067 一 伊達大藏卿ノ清國ニ遣ルノ詔外交官員 昭和五月五日
一 柳原外部大臣ノ公上公上 昭和五月五日
一 副島種臣ノ魯國ニ遣ルノ詔公上 昭和五月五日
一 布哇國々書持参米國特派全權公使ノ勅昭和六月八日
語外交外人奉
臨御親裁
一 太政官代ニ親臨ノ旨ヲ令レ爾後御裝輕元皇月朔
便ヲ主トシ時々臨幸アルヘキヲ以撰ニ
供奉等ヲ諸フヲナカラシム
一 車駕京師ニ還ルノ後ニ條城ニ移御シテ元皇月朔
萬機ヲ親裁スルノ旨ヲ諭告ス
一 玉座移御ノ故ヲ以テニ條城ニ營築セン元皇月朔
トス因テ明日ヨリ各局ヲ禁中ニ移ス
一 學問所出御萬機親裁輔相奏聞等ノ制ヲ元皇月朔
定ム所近習心得
0071 一 臨御ノ日ヲ定メ百官有司ニ勉勵セシム元皇月朔
0073 一 車駕東京ヨリ還リ始テ學問所ニ御ス元皇月朔
0074 一 學問所出御時限三職伺候等ノ例ヲ定ム元皇月朔
0075 禁令
0076 一 芭苴私謁ノ禁ヲ嚴ニス元皇月朔
0077 一 宮堂上ノ名義ヲ借り儀符金等取扱フモ元皇月朔
ノヲ禁ス
0078 一 禁裏御用禁裏御料等ノ文字ヲ會符標札元皇月朔
ニ記載スルヲ禁ス

マイクロ番号

- 0079 一 洛外練兵場若クハ邸内射的場ニアラサ元皇四月九日
ル地ニ於テ擅ニ銃砲ヲ放ツヲ禁ス
0080 一 扈蹕ノ諸儀ニ令レ其臣隷ノ擅ニ銃砲ヲ元皇四月廿日
發ツヲ禁ス
0081 一 大阪裁判所令シテ私ニ兵仗ヲ外人ヨリ元皇四月廿日
購買スルヲ禁ス
0082 一 阿片煙ノ賣買ヲ禁シ其一己人ノ自用ニ元皇四月廿日
之ヲ許サス
0083 一 申令シテ阿片煙ヲ禁ス元皇四月廿日
0084 一 新著并蘇判書類官許ヲ經ズ刊行スルヲ元皇四月廿日
禁ス
0085 一 小渡瀧放銃操練ヲ京師ニ行ハント請フ元皇五月廿日
聽サス
0086 一 浮浪ノ徒私ニ兵仗ヲ糾合シ京地近傍ニ元皇六月廿日
兵ヲ練リ其資ヲ民間ニ募ル等ノ流弊ヲ
禁ス
0087 一 官許ヲ經カレ新聞紙ノ刊行ヲ禁ス元皇六月廿日
0088 一 金札正金交換ノ際打合ヲ食ルヲ禁ス元皇六月廿日
0089 一 納涼ノ徒銃砲ニ似タル火技ヲ弄スルヲ元皇六月廿日
嚴禁ス
0090 一 公事ノ外馬ニ騎シテ市街ヲ疾驅スルヲ元皇六月廿日
禁ス
0091 一 嚴商輩ノ宮堂上館入ト唱レ成權ヲ倣用元皇六月廿日
スルヲ禁ス
0092 一 詔書ノ謄本太政官鎮將府東京府等日誌元皇八月
ヲ店頭ニ列スルヲ禁ス

マイクロ番号

- 0093 一 東京府申令シテ陸胎藥販賣ヲ嚴禁ス 元年九月廿五日 五十一
- 0094 一 大總督府令シテ河岸若クハ部外ニ於テ擅ニ發銃農事ヲ妨クルヲ禁ス 元年九月廿五日 五十二
- 0096 一 東京府下社堂修復ノ爲メ富興行禁ス 元年九月廿五日 五十三
- 0097 一 東京府市中ニ令シ頼母子講ノ富興行ニ嫌アルモノヲ禁ス 元年九月廿五日 五十三
- 0098 一 東京府部民ニ令シ稟請ノ事ヲ以テ他官ニ交シ、蜜錢囑托スルヲ嚴禁ス 元年九月廿五日 五十四
- 0099 一 東京府下ニ於テ故ナク發銃スルヲ禁ス 元年九月廿五日 五十五
- 0100 一 富興行ヲ嚴禁ス 元年九月廿五日 五十六
- 0103 一 私ニ會所等ヲ唱ヘ空米ノ取引ヲナスヲ禁ス 元年九月廿五日 五十七
- 0104 一 東京府下發銃ノ禁ヲ申令ス 二年四月廿五日 五十八
- 0105 一 京都府下發銃ノ禁ヲ申令ス 二年六月廿五日 五十九
- 0106 一 浴ノ中外街上ニ調馬スルヲ禁ス 二年六月廿五日 六十
- 0107 一 馬上疾驅及馬丁等ノ乘馬往來スルヲ禁ス 二年六月廿五日 六十一
- 0108 一 東京府市中寄席ニ於テ音曲物真似又ハ歌舞伎ニ同シキ所作藝ヲ禁ス 二年六月廿五日 六十二
- 0109 一 府下弘曆若クハ除クノ外弘曆及ヒ略曆等彫刻ヲ禁ス 二年六月廿五日 六十三
- 0110 一 無刀象馬ヲ禁ス 二年六月廿五日 六十四
- 0111 一 東京府下無燈夜行ヲ禁ス 二年六月廿五日 六十五
- 0113 一 出火ノ際乘馬ヲ以テ其近傍ニ入ルヲ禁ス 二年六月廿五日 六十六
- 0115 一 馬車ヲ街上ニ馳驅スルヲ禁ス 二年六月廿五日 六十七

マイクロ番号

- 0116 一 領曆者ノ外曆本取扱ヲ禁ス 二年六月廿五日 六十八
- 0118 一 刑餘ノ骸ヲ以テ刀劍ノ利鈍ヲ試ミ及人膽靈天蓋陰莖等ヲ密賣スルヲ禁ス 二年六月廿五日 六十九
- 0120 一 部内外論ナク邸宅中ニ在リテ一切發銃スルヲ禁止ス 二年六月廿五日 七十
- 0122 一 東京府下邸宅中ニ於テ一切火技ヲ弄スルヲ禁ス 二年六月廿五日 七十一
- 0123 一 各港在留ノ支那人等ニ童男女ヲ賣買スルヲ嚴禁ス 二年六月廿五日 七十二
- 0131 一 平民襦袢袴等ヲ著シ帶刀士風ニ擬スルヲ禁ス 二年六月廿五日 七十三
- 0132 一 馬車騎馬等ノ者無燈夜行ヲ禁ス 二年六月廿五日 七十四
- 0136 一 外國人ニ夜中無燈乘馬ヲ許ス 二年六月廿五日 七十五
- 0137 一 街上粗暴狂悖ノ徒ノ縦行取締ヲ爲サシム 二年六月廿五日 七十六
- 0138 一 狹米心願ト稱シ擅ニ神樂ヲ社頭ニ奉納スルヲ禁ス 四年六月廿五日 七十七
- 0139 一 聖世紹胤録ノ發行ヲ停止ス 四年六月廿五日 七十九
- 0140 一 首章由緒ノ有無ニ拘ハラズ皇族ノ外總ヲ禁止 四年六月廿五日 八十
- 一 鐵砲洲居留地關門ノ地所又ハ家作等ヲ外人ニ頒與スルヲ禁ス 四年六月廿五日
- 一 新潟港私ニ米穀ヲ輸出スルヲ禁ス 四年六月廿五日
- 一 各港ヨリ米穀ノ輸出ヲ禁ス 四年六月廿五日
- 一 脱籍ノ者官堂上附屬兵ト唱ヘ集合スルヲ禁ス 四年六月廿五日

マイクロ
番号

マイクロ
番号

- 一 無籍者ヲ止宿セシムルヲ禁ス令上 元年八月八日
- 一 レベリヤ海岸家畜傳染病豫防ノ爲メ諸 元年七月七日
- 一 開港場禽獸及皮革輸入ヲ禁ス并外國交際 元年七月七日
- 一 生禽獸等輸入ノ禁ヲ解ク令上 元年七月七日
- 布令揭示
- 0141 一 萬機親裁公議博採ノ旨ヲ京都三條橋ニ 慶應寺門前 五日
- 揭示ス
- 0142 一 天下ニ令シ幕府舊來ノ榜掲ヲ撤シ新ニ 元年三月
- 定三札覺五札ヲ揭示セシム
- 0146 一 高槻藩御領私領ノ揭示按テ票定ス 元年四月廿日
- 0147 一 榜掲第三札ヲ改メ更ニ和宗門ノ一項ヲ 元年四月廿日
- 増補ス
- 0148 一 大総持府徳川家達ニ令シ江戸市街ノ舊 元年五月六日
- 幕府掲榜ヲ撤セシム
- 0149 一 中大夫山崎壽九領内ノ制札場ハ御定書 元年五月八日
- 等ヲ揭示センコトヲ請フ之ヲ聽ス
- 0150 一 榜掲中徳川内府序内ノ形勢云々及徳川 元年六月廿日
- 慶喜天下ノ形勢云々ノ両項ヲ撤メハキ
- ヲ令ス專ラ復ス
- 0151 一 沿海ニ浦高札ヲ揭示セシム 元年九月九日
- 0154 一 東京府ニ牒シ府下揭示場ノ數及掲榜現 元年七月
- 在ノ條項ヲ問フ
- 0155 一 撰掲ノ榜文ヲ三府開港場ニ揭示セシム 元年七月廿日
- 0156 一 加賀薩摩以下二十四藩ニ令シテ諸藩政 元年七月廿日
- 令傳達ノ事ヲ管セシム

- 0161 一 諸藩ノ觸頭ヲ設ケ政令ヲ傳達セシム 元年八月八日
- 0162 一 九州鎮撫使ハ達スル諸藩布令ハ肥前藩 元年七月廿日
- ヲレテ傳達セシム
- 0163 一 諸藩觸頭ノ政令傳達ノ規則ヲ定ム 元年四月廿日
- 0168 一 布告類中下大夫上士ハ觸頭寺院ハハ 元年七月
- 府縣ヨリ傳達セシム
- 0169 一 太政官日誌ヲ出版シ遞テ諸國ニ布告セ 元年五月廿日
- シム
- 0170 一 令達中重大事件ハ行政官ヲレテ管セシム 元年七月廿日
- 0172 一 伊那縣ヨリ藩々ハ布告ノ主意ハ均ク示 元年七月
- 達アラジコトヲ請フ
- 0173 一 諸侯並中大夫上士任叙改名等布告アラ 元年七月
- シコトヲ請フ
- 0174 一 京都府所定ノ規則中町組五人組ノ仕法 元年七月廿日
- ヲ立テ布告傳達等ノ順序ヲ設ケ
- 0175 一 東京府布令書ヲ出版シテ府下每户ニ知 元年七月
- ラシム
- 0176 一 布告類東京府ニ達スルモノ至急ヲ要ス 元年七月廿日
- 凡分ハ直達シ其餘ハ民政部ヲ經テ傳達
- セシム
- 0177 一 京都府官省ノ布告並指令一途ニ出シテ 元年七月
- ヲ申請ス
- 0178 一 新潟縣ニ布告印刷頒布ヲ許ス 元年七月
- 0179 一 福山藩ニ布告類ノ翻刻シ頒布ヲ許ス 元年四月廿日
- 0180 一 廣島藩ニ管下ノ布令活字板ヲ以テ頒布 元年五月廿日
- スルヲ許ス

マイクロ
コマ番号

0181 一府縣へノ告達轉官ヨリ民部省ニ送付ス 三月十八日 百七

0182 一諸布告留官ヨリ諸官省出張所ニ達ス 四月五日 百八

ルノ例ヲ廢ス

0183 一諸布告官省中回達ノ例ヲ定ム 四月十日 百九

0184 一東京府ヨリ元武家華族ニ布達スレモノ 四月十日 百十

二十四藩額頭ヲシテ遵傳セシム

0185 一大學ニ配付スル布告類ノ負數ヲ定ム 四月三日 百十一

一兵部省ニ配付スル布告類ノ負數ヲ定ム 四月五日 百十二

一山形縣ニ配付スル布告類ノ負數ヲ定ム 四月七日 百十三

一上野屯集ノ賊徒謀戕ノ布告ヲ京都ニ餘 五月十日 百十四

橋ニ掲示セシム 征討門上野
處分、載ス

マイクロ
コマ番号

大政類典第一編第二卷索引

制度

曆

- 0193 一 議定松平慶永領曆ノ制ヲ定メ度量衡ヲ
元三年三月廿日
發定セシコトヲ建議ス
- 0195 一 勢州宇治山田曆師來曆寫本下付ノ願ヲ
元五年六月廿日
許サス
- 0196 一 土御門晴雄造曆及ヒ頒布ノ事宜ヲ稟請
元五年七月廿日
ス是日之ヲ聽シ賞額ヲ録上セシム尋テ
毎月金三百兩ヲ給ヒテ其費ニ充ツ
- 0202 一 未巳年領曆ヲ東京府ニ交付ス
元五年八月
- 0203 一 仙臺藩刊曆ノ請ヲ允シ土御門晴雄ヲシ
元五年八月廿日
テ同藩ノ請ニ應シ原曆ヲ交付セシム
- 0204 一 土御門晴雄ニ遠シ明年ノ曆稿ヲ出サシム
元五年八月廿日
- 0205 一 弘曆處分姑ク土御門家ニ委任ス
元五年八月廿日
- 0214 一 民部省曆及勅願所社寺并天社神道陰陽
元五年八月廿日
師等ノ事ヲ候ス
- 0216 一 土御門和允以下ニ天文曆道御用職ヲ命
元五年五月廿日
シ俸給ヲ定メンコトヲ稟候ス
- 0222 一 弘前藩略曆ヲ蘇利頒布セシムヲ請フ
元五年七月廿日
- 0223 一 大學明年ノ曆本献納ノ事ヲ稟ス
元五年八月廿日
- 0224 一 米澤藩頒曆刊行ヲ請フ允サス
元五年七月廿日
- 0225 一 大學西京星學局出張等ノ廢セシムヲ以テ
元五年八月
本曆留取改印ヲ弘曆若降谷明晴外一名
ニ依托セシコトヲ稟ス

マイクロ
コマ番号

度量衡

- 0226 一 頒曆規則ヲ稟議ス
四年六月
- 0241 一 民政裁判所ヨリ東京府下ノ高守隨考太
元五年六月廿日
即ニ命シ秤改座ノ舊稱ヲ以テ稱衡職工
ヲ管轄セシム
- 0242 一 尺度量衡ノ制ヲ調査スルヲ以テ東京府
元五年七月廿日
ニ命シ従来一般ノ所用ヲ録上セシム
- 0247 一 山形縣度量衡取締方ヲ候ス
元五年十月
- 0250 一 若松縣度量衡取締方ヲ候ス
元五年三月廿日
- 0252 一 民部省水權器用法略書及本器ヲ頒行セ
元五年三月
シテヲ請フ
- 0272 一 度量衡新製ヲ大藏省ニ命シ工部省ト協
元五年三月廿日
議シ取扱ハシム

マイクロフィルム番号 一制度

太政類典第一編第三卷索引

制度

- 0330 一 外交ヲ修ムルヲ以テ洋銀價格ノ比準ヲ設ケ共一枚ヲ以テ我全三分ノ嘴ツ
元皇二月廿日
- 0332 一 古金銀通用従来ノ停止ヲ解キ地方時價ヲ以テ流通セシム
元皇四月廿日
- 0333 一 字内貨幣ノ定價ヲ檢覈シ古今通用ノ全銀銅錢ノ價位ヲ定ム
元皇四月廿日
- 0356 一 廉悪金貨ノ多キヲ以テ人民ニ毒詐ノ所業ヲ戒メ悪全吟味法ヲ頒示ス
元皇四月廿日
- 0357 一 古今内外ノ貨幣徴納其他支出スルモノ皆定價ニ據ルヘキヲ令レ且其姦策ヲ為スヲ戒ム
元皇四月廿日
- 0358 一 古金銀ノ價位ヲ定ムルモ流通不便ナルヲ以テ更ニ新貨ニ交換下付スヘキヲ令ス
元皇十月十日
- 0361 一 會計官旧貨幣ヲ料理スル順序ノ業ヲ定ム
元皇五月廿日
- 0362 一 丁銀豆板銀ノ通用ヲ停メ従来銀名ヲ以テ債借セシモノ其契約ノ年月日ニ溯リ金錢ノ價位ニ改メシム
元皇五月廿日
- 0363 一 丁銀豆板銀ヲ徴シ新貨改製ノ日ヲ以テ其價額ヲ下付スヘク且其日ヲ待ツ能ハサルモノハ紙幣ヲ以テ交付スヘキヲ令ス
元皇五月廿日

マイクロフィルム番号 八

- 0365 一 丁銀豆板銀通用ノ停止ニ基キ貢納諸稅等皆金位ヲ以テセシム
元皇八月
- 0366 一 私ニ銀位ヲ以テ金錢ノ價格ヲ定ムルヲ禁ス
元皇三月廿日
- 0367 一 飯山藩金銀交換ニ打テ取ル者ノ處分方ヲ稟候ス
元皇九月
- 0368 一 諸藩無用ノ銅製大砲ヲ徴シ之ヲ東京真崎鑄錢廠集メシム
元皇五月廿日
- 0369 一 諸藩所有ノ銅製大砲ヲ徴スル今ヲ除ク山形縣下鑄錢ノ請ヲ却ケ銅砲并荒銅廢分方ヲ開申セシム
元皇五月廿日
- 0372 一 銅錢一文ヲ以テ鑲錢六文ニ通用セシム
元皇五月廿日
- 0373 一 錢貨ノ定位ヲ守ラサルモノアルヲ以テ地方官ヲシテ嚴ニ之ヲ處分スヘキ旨ヲ令セシム
元皇五月廿日
- 0374 一 文久錢貨ノ價位ヲ守ラサルモノアルヲ以テ地方官ヲシテ嚴ニ之ヲ處分スヘキ旨ヲ令セシム
元皇三月八日
- 0378 一 東京府令レテ府下兩替屋諸商人小錢ヲ貯フル等不融通ノ一ナカラシム
元皇七月廿日
- 0379 一 錢貨ノ價位ヲ定メ十貫文ヲ以テ金貨一圓ニ當ツ
元皇七月廿日
- 0380 一 人民ノ私ニ錢貨ノ價位ヲ設クヲ禁ス
元皇九月廿日
- 0382 一 京拱開錢債潤澤ナルヲ以テ姑ク時價ニ隨テ通用スルヲ許ス
元皇七月廿日
- 0384 一 米澤藩管内錢價位ヲ改メ九六ノ比準ヲ設ク
元皇五月廿日

(マイクロ
コマ番号)

- 0386 一 三春藩管内錢債ノ價位ヲ稟定ス 寶曆五月二日 二五
- 0387 一 三陸地方錢債ノ價位ヲ廢シ時價ニ隨テ 寶曆五月八日 二五
- 通用スルヲ許ス
- 0389 一 幕府書ヲ各國公使ニ致シ貨幣改鑄ノ事 寶曆五月廿四日 二六
- 器械備其セサルヲ以テ期約ニ循フコト
- 能ハサルヲ告グ
- 0394 一 銅會所ヲ大阪ニ置キ民度ノ私ニ銅屬ヲ 延享四月十四日 二七
- 販賣スルヲ禁ス
- 0398 一 大総督府江戸全銀座ノ鑄造場ヲ收ム 享和五月廿七日 二八
- 0409 一 幕府ノ全銀錢鑄局ヲ收ムルコトヲ田安 享和五月廿五日 二九
- 廢頼ニ令ス
- 0410 一 水戸藩ノ鑄錢ヲ止メ其器械ヲ收ム 享和五月 三十
- 0419 一 大總督府軍資不費ヲ以テ毎月全拾万兩 享和五月廿四日 三十一
- 0420 一 武分金ヲ鑄造シ其狀シテ之ヲ奏ス 享和五月廿五日 三十二
- 一 會計官ニ令シ通用全銀債ヲ増鑄セシム 享和八月 三十三
- 0422 一 増鑄通用全銀債成ルヲ以テ其若干ヲ諸 享和八月 三十三
- 官府縣ニ分賜ス
- 0423 一 従来ノ當百錢債ヲ増鑄シ北海邊開拓ノ 享和十月廿八日 三十四
- 資ニ充ツ
- 0424 一 中川久昭封内出ス所ノ銅ヲ以テ錢債ヲ 享和五月廿五日 三十五
- 鑄造セルコトヲ請フ
- 0425 一 阿州藩國內融通ノ爲メ全銀錢鑄造ヲ乞フ 享和五月 三十六
- 聽サス
- 0427 一 造幣局ニ戒メ貨幣ノ改鑄務ノテ旧來ノ 享和五月廿五日 三十七
- 流弊ヲ矯メ精良ノ全種ヲ以テ樣本ニ照
- シ之ヲ鑄造セシム

(マイクロ
コマ番号)

- 0428 一 貨幣鑄造ノ議ヲ決スルヲ以テ正金ノ支 享和五月 三六
- 出ヲ傳ムルモ諸官府縣中尚ホ其旨ニ違
- フモノアルニ因リ申不テ之ヲ傳ム
- 0429 一 新債ノ品位形狀ヲ議決ス 享和五月 三九
- 0430 一 従前ノ債名ヲ廢シ一進一位ヲ以テ新債 享和五月廿四日 四十
- ノ價位ヲ定ムルノ議ヲ決ス
- 0433 一 外務省書ヲ各國公使ニ贈リ新債鑄造 享和八月 四十一
- ノ間スル條約等ヲ論ス
- 0445 一 大藏省ニ令シ假令其儲蓄金ヲ以テ本位 享和五月廿六日 四十二
- 低位ノ比準ヲ立テ全債ヲ製造シ造幣開
- 寮ノ日ヲ待タシム
- 0446 一 外國公使ニ新鑄全銀債ノ價格改制ノ 享和五月廿五日 四十三
- コトヲ告グ
- 0448 一 造幣地全受授及全銀分析等ノ際彈正臺 享和五月 四十四
- 員ヲシテ臨席點檢セシム
- 0449 一 新債ヲ伊勢神宮ニ供ス 享和五月 四十五
- 0450 一 新債條例ヲ發行ス 享和五月 四十六
- 0472 一 新債本位改定ノコトヲ各國公使ニ告ク 享和五月 四十七
- 0473 一 造幣寮事務取扱規則及事務施爲方法概 享和六月 四十八
- 略毎年製債試驗分析定則ヲ定ム
- 0482 一 債率ヲ改メ條例ニ掲載ノ量目ヲ以テ新 享和六月廿五日 四十九
- 債ヲ鑄造ス
- 0483 一 内外人民ヨリ收入スル地金ノ鑄造ヲ始 享和六月廿五日 五十
- ム
- 0484 一 造幣規則第八條第十四條ニ係ル爲換取 享和七月廿四日 五十一
- 扱入ヲ定ム

マイクロ
リール番号

- | | | | |
|------|------------------------------------------|----------|-----|
| 0485 | 一 債幣發行ノ旨趣ヲ貫徹セシムルカ爲メ
條例ヲ頒布シ異説流言ニ送ハサラシム | 昭和二年七月九日 | 五十二 |
| 0486 | 一 舊債改造ノ爲メ大坂造幣寮並各關港場
ニ於テ一分銀ヲ領收スルノ順序ヲ定ム | 昭和二年七月九日 | 五十三 |
| 0488 | 一 始メテ新銀債ヲ發行ス | 三年十一月 | 五十四 |
| 0489 | 一 始メテ新銀債ノ鑄造ニ着手ス | 三年十一月 | 五十五 |

マイクロ
コマ番号

太政類典第一編第四卷索引

制度

貨幣

- 0495 布告 一 廢全流布スルヲ以テ全銀并全札包座ヲ
東京本所ニ置キ其眞贋ヲ檢セシム
宣統元年五月
- 0496 達 一 京攝及兵庫長崎等ニ貨幣改所ヲ設ケ京
濱ニ假ハシム
宣統元年五月
- 0497 公 一 吏員ヲ各開港場ニ派遣シ外人所持ノニ
分全ヲ査閲シ其眞贋ヲ區別シ之ヲ交換
セシム
宣統元年五月
- 0499 稟告 一 鹿児島藩廢全製造ノ情實ヲ開陳シ引咎
天裁ヲ仰ク
宣統元年五月
- 0500 公 一 久留米藩一介銀鑄造ノ額ヲ開申ス
宣統元年五月
- 0501 達 一 各地方人民ノ所有セル廢全ノ額ヲ調査シ
十月ヲ限リ之ヲ申購セシム
宣統元年五月
- 0503 下問 一 廢全ノ弊害消除ノ策ヲ議院ニ下問ス
宣統元年九月
- 0505 達 一 銀壹圓全交換ノ比準ヲ設ケ全札三拾兩
ヲ以テ該全百兩ニ換フ
宣統元年九月
- 0509 大藏省 一 廢全交換ノ爲メ壹萬石、三百兩ノ比例
ヲ以テ尾張國以東二十四國ノ藩縣ニ全
札ヲ下付ス
宣統元年九月
- 0510 公 一 銀壹二分全ノ交換件連ノ地布令遷延ニ
原由ニテ其期ヲ過クル者アルヲ以テ府
藩縣ヲシテ尚其交換ノ處分ヲ遂ケシム
宣統元年九月
- 0525 一 銀壹二分全交換ノ期ヲ延キ十二月十五
日ヲ以テ限リトス
宣統元年九月

マイクロ
コマ番号

- 0531 一 銀壹二分全ノ交換延期ニ関シ留守官其
管轄官華族等ニ令シ悉全所持ノ員數ヲ
録上セシム
宣統元年九月
- 0532 布告 一 銀壹圓全交換ノ期ヲ過クルヲ以テ爾後
廢全部類ハ皆全銀混合ノ地金ト爲ス
宣統元年九月
- 0533 稟議 一 民政部大藏兩省惡全交換期限後尙其殘餘
夥多ナルヲ以テ論達ノ大意書ヲ布告ア
ラレテ稟議ス
宣統元年九月
- 0534 一 横濱東洋銀行上呈スル我邦銀貨ノ品質
ニ關スル意見書ヲ神奈川縣ヨリ外國官
ニ轉致ス
宣統元年九月
- 0539 一 英獨兩國公使書ヲ致シテ我全銀貨ノ品
質ヲ論ス
宣統元年七月
- 0542 一 各外國公使ノ全銀貨ノ處分ヲ務使スル
ニ答ヘ姑ク其鑄造ヲ勒停スルノ旨ヲ告
ク
宣統元年七月
- 0545 一 貨幣處分ニ關シ英公使我輔相以下ニ面
議セント請フ
宣統元年七月
- 0547 一 褫幣及廢貨ニ關スル幣害ハ漸ク以テ之ヲ
消除スヘキヲ各國公使ニ回答ス
宣統元年七月
- 0549 一 石大臣以下各國公使ト高輪應接所ニ會
ニ惡劣貨幣ノ區處ヲ議ス
宣統元年七月
- 0555 一 二分全量質分析書ヲ各國公使ニ送付ス
宣統元年七月
- 0556 一 外人ノ論議アルヲ以テ廢造貨幣ノ處分
ヲ諸藩ニ垂問シ其意見ヲ上ラシム
宣統元年七月
- 0565 一 惡劣貨幣兌換方ヲ各國公使及領事ニ
宣統元年七月

マイクロ
コマ番号

報告ス

0567

一 江戸在留英公使日本政府ト決議ノ布告 三月廿五日
書ヲ大坂長崎兵庫ノ公使館ニ贈ル

0570

一 佛國商人リルマル社中所持ノ廢金交換 三月廿日
ノ處分ヲ稟申ス

0573

一 各國人民所持ノ封印ニ分金引換手續ヲ 三月廿九日
決定ス

0577

一 外人所持ノ處分銀ト新貨幣ト交換スル 三月廿九日
比準ヲ履行ス

0578

一 外務省各公使、協議セル貨幣比較ノ條 三月廿九日
件ヲ關港場府縣使ニ令達ス

0580

一 各國公使ト議定セル貨幣比較表ヲ關港 四月八日
場所在ノ地方ニ頒ツ

0582

一 考根藩商賈ノ廢金札タルヲ知ラスレテ 三月廿日
受取タル者ノ處分ヲ稟候ス

一 惡金銀處分ノ事ヲ勸問ス 三月廿四日
一 函館殘賊平定以前ニ係ル貨幣私鑄ノ罪 三月廿九日
ヲ救ス 三月廿九日
一 偽造實債律ヲ定ム刑法則律ニ載ス 三月廿九日

マイクロ
コマ番号

大政類典第一編第五卷索引

制度

出版

- 0593 一 文書出版ハ總ヲ材料ヲ學校官ニ出シ查閱ヲ受ク可キヲ令ス
元年六月廿日
- 0594 一 圖書開版再刻等ノ規則ヲ定ム
元年五月廿日
- 0595 一 出版條例ヲ制定ス
元年五月廿日
- 0604 一 海陸軍ニ關係ノ書籍開版ハ兵學寮ニ付シテ檢査セシム
元年五月廿日
- 0605 一 西洋翻譯書類出版納本毎、一部ヲ外務省ニ交付ス
元年五月廿日
- 0606 一 大學ニ於テ出版ノ書籍ハ書用及書中ノ大旨ノミヲ記載シテ東讀セシム
元年五月廿日
- 0607 一 出版書籍重版ノ事ヲ候ヌ
元年四月廿日
- 0608 一 京都府下開版書籍ノ原稿ヲ東京文局ニ送致スル便宜ヲ定ム
元年四月廿日
- 0609 一 海陸軍學科ニ關係ノ書籍開版檢査ヲ兵部省ニ委ヌ
元年四月廿日
- 0610 一 諸官省規則書類施行ノ後板木ヲ書肆ニ下付シテ印刷スルヲ允ス
元年六月廿日
- 0611 一 長崎縣港内及市街測量圖ノ上木ヲ允ス但共官許官准等ノ字ヲ彫刻スルヲ禁ヌ
元年七月
- 0612 一 伊那縣平民源兵衛私版ノ算術書更ニ開板ノ允許ヲ乞フ
元年五月
- 0613 一 書肆村上勳兵衛等藏銘録刻處分
元年五月廿日
- 0614 一 京都府下ニ於テ玉鉾百首解其他書籍開
元年五月

マイクロ
コマ番号

- 0616 板ノ處分
一 静岡藩須藤時一郎翻譯佛團陣營條規兵學寮開版ノ陸軍日典異名同書ナルヲ以テ上木ヲ許サス
元年五月廿日
- 0618 一 大學ニ活字器械ヲ整置ス
元年五月廿日
- 0619 一 民部省ニ活版器械ヲ整置セシメコトヲ請フ
元年五月
- 0621 一 大學藏品ノ活字ヲ用達町人ニ托シテ官民一般ノ書籍ヲ印刷セシム
元年五月廿日
- 0622 一 長崎製鐵所附屬新聞局ノ活字器械處分
元年四月
- 0625 一 長崎縣活版社長木本冒造ノ願ニ依リ大學東校區域内ニ活版所ヲ設ク
元年五月
- 0626 一 新聞發行取締方ヲ定ム
元年五月
- 0627 一 大學南校ニ於テ海外新聞ヲ刊行ス
元年四月
- 0628 一 海外新聞ノ官版發行ヲ停メ之ヲ翻譯シテ上呈スルハ舊ニ仍ラシム
元年八月廿日
- 0629 一 大學南校ニ牒シ海外新聞進達ノ部教ヲ定ム
元年五月廿日
- 0630 一 京都府下ニ於テ海外新聞重版ノ者處分
元年五月
- 0631 一 京都府下新聞紙發行ヲ許ス附新聞紙條例
元年七月
- 0634 一 純仁親王書ヲ上リ朝堂上下尊卑ノ禮分ヲ正シ新進ノ藩士宜ク爵位ヲ賜フヘキヲ建議ス
元年五月廿日

マイクロ簿編 一制度
コマ番号

マイクロ簿
コマ番号

- 0635 一在京諸侯ニ令シ官位宣下ノ年月日ヲ録
上セシム 元禄廿一年 廿八
- 0649 一五等官守辰ニ至ル官人若クハ官侍等在
勤中従前爵位ヲ停メ隨位ノ通稱ノ唱ハ
シム 延享八月八日 廿九
- 0653 一信濃國大山田神社神主鎮西大助叙位申
請 元禄廿一年 三十
- 0654 一諸侯嫡子ノ功勞アルモノ、外叙位ヲ請
フノ例ヲ廢ス 延享八月廿一日 三十一
- 0655 一下大夫以下ノ官位ヲ停ム 延享八月廿一日 三十二
- 0656 一豊浦藩管内諸社ノ社人位階アルモノ取
扱方ヲ候ス 延享八月廿一日 三十三
- 0657 一下大夫同席ノ朽木和泉守等爵位ヲ有シ
テ本領安堵ノ命ヲ拜セシモノ例ニ依リ
官位ニ止ム 延享八月廿一日 三十四
- 0658 一叙任規則ヲ定ム 延享八月廿一日 三十五
- 0659 一諸官人諸大夫坊官等十五歳以上ニ初官
位ヲ請ハシム 延享八月廿一日 三十六
- 0660 一醫師畫工職人等位階及國名ノ受領ヲ止
ム 延享八月廿一日 三十七
- 0662 一諸官局三等以上ノ位階ヲ辭退セシモノ
ト未タ宣下ニ至ラサルモノトヲ調査セ
シム 延享八月廿一日 三十八
- 0663 一官位ヲ改正シ従来拜叙ノ位階ハ舊ニ仍
リ華族ヨリ諸官人等ニ至リ迄無官ノモ
ノハ位階ヲ以テ稱セシム 延享八月廿一日 三十九

- 0664 一任階ノ勅奏判授ノ區別ヲ定ム 延享八月廿一日 四十
- 0665 一勅奏判任ノ區別ヲ定メ判任ハ其長官之
ヲ授ケ位階ハ太政官之ヲ賜フ 延享八月廿一日 四十一
- 0666 一官員ノ初任ニ在リテ位ニ叙スル總ヲ本
官相當ニ二等ヲ下ス 延享八月廿一日 四十二
- 0667 一免職ノ後尚ホ東京滞在ノ命アルモノハ
任階ヲ返上スルニ及ハス 延享八月廿一日 四十三
- 0668 一藩知事一門ノ輩ニ位階ヲ給フノ令ヲ除
ク 延享八月廿一日 四十四
- 0669 一免官ニ依リ任記返上ノ節本人差支アレ
ハ舊同僚ヨリ返納セシム 延享八月廿一日 四十五
- 0670 一岡山藩官員位階宣下ノ請ヲ允サス 延享八月廿一日 四十六
- 0671 一栃木縣ヨリ叙位順序ノ儀ヲ候ス 延享八月廿一日 四十七
- 0672 一官省府藩縣共判任ノ者ハ位階ヲ下賜
セシム 延享八月廿一日 四十八
- 0673 一舊官人元諸大夫侍并元中大夫等位階總
テ之ヲ廢シ其國名或ハ舊官名ヲ以テ通
稱トナスモ亦之ヲ停止ス 延享八月廿一日 四十九
- 0674 一諸社神職ノ位階ヲ有スルモノ官省出仕
中ハ之ヲ停ム 延享八月廿一日 五十
- 0675 一新律綱領中位階勅奏授ノ區別 延享八月廿一日 五十一
- 0676 一春日新神司華族格ノ者ハ爵位返上ニ及
ハス 延享八月廿一日 五十二
- 0677 一華頂官ニ品ノ位紀ヲ辭退ス 延享八月廿一日 五十三
- 0678 一勅奏判任ノ品ニ叙ス 延享八月廿一日 五十四
- 0679 一判任女子ト正五位下ニ宣叙ス 延享八月廿一日 五十五

マイクロ
コマ番号

マイクロ
コマ番号

- 0680 一峰須賀茂高ノ請ヲ允シ阿波守ニ任シ權少將舊ノ如ク宣下ス 元享八月八日 五十六
- 0681 一備前侍従父子遷任ヲ宣下ス 元享八月廿日 五十七
- 0682 一毛利敬親末家吉川監物ヲ駿河守ニ任シ徒五位下ニ叙ス 元享八月廿日 五十八
- 0683 一小松清康以下九名及神山郡康以下十一名ニ等三等ノ位ヲ授ケ其階級ニ應シ衣冠ヲ賜フ 元享八月廿日 五十九
- 0684 一毛利季相ヲ兼左近衛中將ニ任シ徒三位ニ叙ス用テ毛利中將ト唱フ 元享八月廿日 六十
- 0685 一尾州藩重臣石河佐渡以下官位返上 元享八月廿日 六十一
- 0687 一徳川徳成徳川茂承其先臣ノ官位ヲ辭ス之ヲ聴ス 元享八月廿日 六十二
- 0689 一佐竹修理大夫ノ勤王ヲ若シ特旨ヲ以侍従ニ任シ徒四位ニ叙ス 元享八月廿日 六十三
- 0690 一出雲國國造千家北島兩氏舊典ニ依リ辭位ヲ宣下ス 元享八月廿日 六十四
- 0691 一大給縫殿頭官名ヲ奉還セシメテ請フ 元享八月廿日 六十五
- 0692 一徳川少將ノ民部大輔辭退ヲ聴ス 元享八月廿日 六十六
- 0693 一上杉式部ノ官位ヲ宣下ス 元享八月廿日 六十七
- 0694 一南部彦太郎ノ官位ヲ宣下ス 元享八月廿日 六十八
- 0695 一田村鎮元ノ官位ヲ宣下ス 元享八月廿日 六十九
- 0696 一酒井忠祿ヲ以テ徒五位ニ叙ス 元享八月廿日 七十
- 0697 一松平定敬ヲ徒五位ニ叙ス 元享八月廿日 七十一
- 0698 一上杉齊胤ノ譴責ヲ免シ更ニ徒五位ニ叙ス 元享八月廿日 七十二

- 0700 一南部信氏ノ譴責ヲ免シ更ニ叙爵ヲ命ス 元享八月廿日 七十三
- 0701 一板倉勝尚ノ譴責ヲ免シ更ニ徒五位ニ叙ス 元享八月廿日 七十四
- 0702 一本多忠紀ノ譴責ヲ免シ更ニ徒五位ニ叙ス 元享八月廿日 七十五
- 0703 一田村邦榮ノ譴責ヲ免シ更ニ叙爵ヲ命ス 元享八月廿日 七十六
- 0704 一内藤政養ノ譴責ヲ免シ更ニ徒五位ニ叙ス 元享八月廿日 七十七
- 0706 一酒井忠良ノ譴責ヲ免シ更ニ叙爵ヲ命ス 元享八月廿日 七十八
- 0707 一岩城隆邦ノ譴責ヲ免シ更ニ叙爵ヲ命ス 元享八月廿日 七十九
- 0708 一久世廣文ノ譴責ヲ免シ更ニ叙爵ヲ命ス 元享八月廿日 八十
- 0709 一坂直順ノ譴責ヲ免シ更ニ叙爵ヲ命ス 元享八月廿日 八十一
- 0710 一松平信庸ノ譴責ヲ免シ更ニ叙爵ヲ命ス 元享八月廿日 八十二
- 0711 一久松定昭ニ特旨ヲ以テ叙爵ヲ命ス 元享八月廿日 八十三
- 0712 一板倉勝弼ヲ以テ徒五位ニ叙ス 元享八月廿日 八十四
- 0713 一重原藩知事養祖父隆居勝顯舊ノ如ク有 元享八月廿日 八十五
- 0714 一松平容大ヲ以テ徒五位ニ叙ス 元享八月廿日 八十六
- 0715 一南部信民位階返上ノ請ヲ聴ス 元享八月廿日 八十七
- 0716 一侍講平田大角中沼了三ニ特旨ヲ以テ叙位ヲ宣下ス 元享八月廿日 八十八
- 0717 一徴士ニ位階ヲ授ケ 元享八月廿日 八十九
- 0719 一戸田大和守ノ山陰及御臺所御用ニ精勤 元享八月廿日 九十
- 0720 一秋月右京亮ニ達シ叙位ノ命ヲ奉セシム 元享八月廿日 九十一
- 0721 一鍋島侍従宗對馬守思食ヲ以テ官ニ任シ 元享八月廿日 九十二

0722

位：叙ス
一 佐竹次郎藩祖勤王ノ遺意ヲ承速シ終ニ
東北平定ノ功ヲ奏スルニ至ルヲ賞シ官
爵ニ任叙シ紫組弼楯ヲ免ス
元享五年六月

0724

一 西尾王佐時多年執ヒノ勞アルヲ以テ其
危篤ヲ聞召特ニ叙位ヲ宣ス
元享五年四月

0725

一 前田多慶若大官御所警衛ノ勞ヲ思召其
幼若ヲ以テセズ特ニ叙任ヲ宣ス
元享五年四月

0726

一 山本典葉大允ヲ罷メ多年精勤ヲ褒シ叙
位ヲ宣ス
元享五年三月

0727

一 島義勇東京府在職中ノ勉勵及ヒ北海道
赴任ノ勞ヲ以テ特ニ位ニ叙シ金ヲ賜フ
元享八年三月

0728

一 中村藩知事ノ民政隣藩ニ抽ヲ兵亂ノ際
又鎮撫周到ナルヲ賞シ位階ヲ進ム
元享九年三月

0729

一 加藤大洲藩知事以下積年王事ニ勤勞シ
タル者ヲ賞シ位階ヲ進ム
元享九年三月

0731

一 伊藤大藏大輔復古以來ノ勤勞ヲ賞シ位
階ヲ進ム
元享九年三月

0732

一 稻田九郎兵衛ノ積年勤王ノ功ヲ賞シ位
階ヲ授ク
元享九年三月

一 徳川家臣ノ官位ヲ止ム
元享五年四月

一 免官ノ節奉職満四年ニ至ラザル者位階
返上官制典恩典
元享三年令

一 僧位僧官永宣旨廢止教法僧尼
伏見宮叙品制度種族
元享九年四月

一 聖護院宮叙品
元享九年四月

一 照高院宮叙品 全上

マイクロ
コマ番号

太政類典第一編第六卷索引

制度

種族一

皇族 0738 親王大臣等座次及参入ノ席ヲ定ム
元皇正月九日

0739 親王公卿等ノ庶子其材ノ隨ヒ登用スハ
元皇正月七日

0740 親王諸王ノ區分ヲ定ム
元皇正月廿五日

0742 東宮中務卿官常陸宮甲宮四親王ニ参
元皇正月廿五日

0743 親王元大臣等参入席及其取扱方ヲ定ム
元皇正月廿五日

0744 宮内省ニ牒シハ景ノ間参入ノ姓名ヲ調
元皇正月

0745 止階東伏見親本ニ親王ニ二代目ヨリ姓
元皇正月

0746 賜ヒ華族ニ列ス
元皇正月廿五日

0747 四親王ノ外新ニ親王タルノ家ニ二代目
元皇正月廿五日

0750 皇族ノ人口戸數ヲ調査ス
四年三月廿八日

0751 親王家ニ令ヒ社寺等ノ執奏ヲ管スルモ
四年三月

0752 其箇所由緒收入物等ヲ調査録上セシ
四年三月

0753 一代宮隱居ノ終身禄ヲ定ム
元皇正月廿五日

攝籙門流ヲ廢ス官制一ノ一
元皇正月廿五日

男子ノ鍔操作屑ハ古制ニ非ザルヲ以テ
元皇正月廿五日

必ス遵守スルヲ要セザル旨ヲ公卿ニ告
元皇正月廿五日

近習内々外様合一勤番セシメ其家格ヲ
元皇正月廿五日

マイクロ
コマ番号

廢ス

0755 公卿諸侯中下大夫ノ嫡子嫡孫元服ノ制
元皇正月廿五日

0756 公卿諸侯ノ稱ヲ廢シ改テ華族ト稱セシ
元皇正月廿五日

0757 華族ノ深齒挿眉ノ例ヲ傳ム
元皇正月廿五日

0758 華族隱居ノ剃髮スルモノニ後飾セシム
元皇正月廿五日

0759 華族上座ヲ地方官ニ貫スルヲ以テ其取
元皇正月廿五日

0760 華族ノ華地方官貫屬タルニ由リ東京府
元皇正月

0762 聽諾取扱方ヲ候ス
元皇正月廿五日

0763 官華族元堂上家人規則ヲ定メ府藩縣ノ
元皇正月廿五日

0763 士卒ヲ雇用スルノ方ヲ令ス
元皇正月廿五日

0890 諸侯ノ當主嫡子隱居ノ家捨棄出致仕等
元皇正月廿五日

0892 各藩ノ當主嫡子隱居等年齡家捨棄叙任年
元皇正月廿五日

0895 藩知事位氏姓實名叙任等開申
元皇正月

0897 府縣華族士族卒明細短冊進達方
四年七月廿八日

0898 三府及神奈川兵庫二縣ニ其實屬華族
四年七月廿八日

0899 隱居家捨等身上ニ關シ變化アルモノ
ノ申報方ヲ令ス

0900 諸家ノ由緒書例ニ依リ録上セシム
元皇正月廿五日

家傳例年四月一日改注進スヘキモノ今
元皇正月廿五日

其事ナキヲ以テ至急注進セシム
元皇正月廿五日

京都府華族家傳注進並由緒書進達ニ及
四年三月廿八日

コマ番号

皇華族
或

ハス
0901 一 滋野井公壽綾小路俊廣等ノ舉動ニ依ヒ
元禄山直喜日
廿九

0902 一 官堂上諸官人等ヲ戒メ文武ヲ兼修シ軟
元禄元年
三十

0904 一 政體ヲ誹謗シ人心ヲ蓋惑スル者等アル
元禄五年
三十一

0905 一 官公卿門閥ノ身トシテ登榑等遊治ニ耽
元禄五年
三十二

嚴ニ之ヲ戒シム

0906 一 東幸御留守中官堂上並諸官人等別シテ
元禄三月廿日
三十三

0907 一 華族ノ遊蕩ヲ戒シメ觸頭ヲシテ之ヲ懲
元禄三月
三十四

諭セシム

皇華族
願伺届
進達方

0908 一 留守官管轄官華族元官人等ノ願伺届等
元禄五月廿日
三十五

ハ京都府ニ出サシム

0909 一 制度分局非役華族參入扣罈ヲ候ヌ
元禄三月廿日
三十六

0910 一 華族觸頭ヲ置キ同族ノ願伺届等一切之
元禄三月十日
三十七

ニ出サシム

0912 一 兩京府實屬ノ華士族等彼此滞留中ハ願
元禄三月廿日
三十八

伺届等該地ノ觸頭ヲシテ管セシム

0917 一 官家ノ願伺届等差出方ヲ令ヌ
元禄三月十日
三十九

0918 一 同上
元禄三月廿日
四十

0919 一 尼宮並諸門跡ノ願伺届ハ舊ニ仍リ留守
元禄三月
官及宮内省ヲシテ管セシム
四十一

マイクロ
コマ番号

0920 一 靈鑑寺圓照寺兩宮ノ願伺届等差出方ヲ
元禄三月廿日
令ヌ
四十二

0921 一 元武家華族ノ家族藩地ニ滞留等ノ願伺
元禄三月廿日
廳ヲ經由シテ辨官ニ進達セシム
四十三

0922 一 華族觸頭ノ者願伺書等進達方
元禄三月廿日
四十四

(マイクロ
コマ番号)

太政類典第一編第七卷索引

制度

種族ニ

- 0933 一 桂宮全圖ヲ献納ス 元年五月
- 0934 一 桂宮天機伺候為ノ使ヲ大阪行在所ニ遣ル 元年四月一日
- 0935 一 大宮御所桂宮御方出火ノ節御立退ノ場所ヲ定ム 元年五月二日
- 0936 一 桂宮系統及領地高 元年四月
- 0937 一 桂宮川筋堤防ニ関スル願書ノ照會 元年四月
- 0938 一 桂宮桂別荘ニ成ラセラル 元年四月
- 0940 一 桂宮三角少典醫ニ御代ヒテ命センコトヲ請フ 元年五月七日
- 0941 一 桂宮醫員藤本篤平等廢止ニ付拜診セシメス 四年三月
- 0942 一 桂宮ニ家祿化粧料等ヲ賜フ 四年五月八日
- 0944 一 桂宮寛院兩宮化粧料等渡方大藏省ヲシテ管セシム 四年五月七日
- 0945 一 桂宮履歷 四年六月
- 0946 一 二品職仁親王ヲ一品ニ叙ス 慶應三年五月
- 0947 一 熾仁親王伯父親王ノ喪ニ居ル特命シテ陰服朝参セシム 慶應三年五月
- 0948 一 熾仁親王ニ命シ私馬ヲ率ヒテ参朝セシム 慶應三年五月
- 0949 一 熾仁親王ニ命シ東幸御留主中非常ノ際桂宮ニ参上セシム 元年五月六日

(マイクロ
コマ番号)

- 0950 一 熾仁親王ニ命シ東幸御留主中更ニ桂宮ニ参上ノ日ヲ定ム 元年五月
- 0951 一 有栖川宮収納高調査 元年五月
- 0953 一 有栖川熾仁親王外ニ名官名返上ヲ請フ 元年八月
- 0955 一 有栖川宮ニ救助トシテ全國ヲ賜フ 元年八月
- 0956 一 有栖川熾仁親王天機伺ノ為ノ東上ス 四年五月
- 0957 一 有栖川宮ノ家計ヲ定ム 四年五月
- 0958 一 熾仁親王ニ居テ東京ニ移サシム 四年七月廿日
- 0959 一 熾仁親王隱居ノ請ヲ聽ス 四年七月廿日
- 0960 一 有栖川熾仁親王ノ西京旅行ノ請ヲ允ス 慶應三年五月
- 0961 一 熾仁親王ニ隨身兵仗ヲ賜フ 元年五月
- 0962 一 近衛前左府滋治中宮御所ノ事務ヲ管セシム 元年五月
- 0963 一 熾仁親王ヲ東京ニ召ス 二年十月庚辰
- 0965 一 有栖川宮賞典未ノ内ヲ以テ招魂社祭典ノ為メニ献納ス 四年四月
- 0966 一 有栖川宮家人飯田左馬ノ遺着大日本野史ヲ献セシム 二年八月
- 0967 一 公現親王ヲ有栖川宮ニ同居セシム 三年四月廿日
- 0968 一 横濱出張所時限ヲ兵部卿ニ通告ス 四年五月五日
- 0969 一 伏見邦家親王末男佛光寺附第六十宮ニ條家ノ猶子ヲ改メ直ニ門跡ニ遣ヒ相續セシメシコトヲ請フ 元年六月
- 0970 一 伏見宮収納高調査 元年七月
- 0971 一 伏見宮假服 元年八月
- 0972 一 伏見宮假版 元年五月

第一編 一制度
マイクロ
番号

0973	一伏見宮領地ヲ徴シテ流民集所建設地ト為ス	元皇三十四年	三六
0974	一伏見宮系統及家領調査	皇四十四年	三七
0978	一伏見宮諸費用金下賜ヲ請フ	皇五十七年	三八
0979	一伏見宮ニ救助トシテ金圓ヲ賜フ	皇五十八年	三九
0980	一皇子ニ西會ヲ得セシムル者ノ姓名	皇五十九年	四〇
0982	一伏見宮ニ令シ後崇光院貞成親王ノ御日記ヲ徴ス	皇六十四年	四一
0983	一伏見敷宮ヲ親王ト為ス	皇六十四年	四二
0988	一伏見宮ノ家計ヲ定ム	皇六十五年	四三
0991	一伏見宮會計調査	皇六十六年	四四
0994	一伏見一品宮始ノ親屬實父母實名誕辰等調査	皇六十八年	四五
0996	一三寶院官領山ノ松茸及菓物ヲ献ス	皇六十九年	四六
0998	一三寶院官修驗道管領及後飾ノマ、門室相續醍醐寺別當等ノ事ヲ請フ允サス	皇七十四年	四七
1000	一三寶院官末次修驗ヘ下付ノ紋付提灯非常ノ外用ヒシナル者ヲ申ス	皇七十四年	四八
1001	一三寶院官用遠商品運送ノ節該官ノ印鑑ヲ下付センコトヲ請フ允サス	皇七十五年	四九
1002	一三寶院易宮ヲ伏見家ニ後籍セシム	皇七十五年	五〇
1003	一靈鑑寺宮東京日枝神社旅所拜借ヲ請フ	皇七十四年	五一
1004	一靈鑑寺宮領付金ヲ徴收センコトヲ請フ許サス	皇七十五年	五二
1006	一靈鑑寺宮ヘ善賢院等ノ年回法用金ヲ下賜ス	皇七十五年	五三

マイクロ
番号

1009	一靈鑑寺ノ家事ヲ宮内省ニ委ス	皇七十四年	五三
1010	一圓照寺宮御預尾張ヲ三上從五位宅ニ後籍セシム	皇七十四年	五四
1011	一圓照寺宮ノ家事ヲ宮内省ニ委ス	皇七十五年	五五
1012	一中宮寺宮開祖ノ年忌法事ニ供物ヲ請フ允サス	皇七十五年	五六
1013	一關院宮相續人ヲ撰定センコトヲ請フ允サス	皇七十五年	五七
1015	一關院宮収納高調査	元皇七十四年	五八
1016	一關院宮領所凶作ニ付拜借金ヲ請フ	元皇七十四年	五九
1019	一關院宮ノ家計ヲ定ム	皇七十八年	六〇
1020	一靜寬院宮ニ西上ノ内旨ヲ傳フ	皇七十八年	六一
1021	一久保忠寛ニ内旨ヲ傳ヘ靜寬院西上ノ處置ヲ委ス	元皇七十四年	六二
1022	一靜寬院宮西上ノ期月ヲ徳川氏ニ令ス	皇七十四年	六三
1023	一靜寬院宮西上ノ期日及其沿路ヲ定ム	皇七十四年	六四
1024	一同宮西上京著ノ沿路ヲ定ム	皇七十四年	六五
1025	一同宮西上京著ノ旨ヲ令ス	皇七十四年	六六
1026	一同宮山陵ヲ拜シ其沿路ヲ定ム	皇七十四年	六七
1027	一同宮京師ニ滞輿ノ旨ヲ令ス	皇七十四年	六八
1028	一東幸御著聲ノ節靜寬院宮天機伺ノ事ヲ儀ス	皇七十四年	六九
1029	一靜寬院宮居ヲ京師ニ定メラルヘキヲ徳川氏ニ令ス	皇七十四年	七〇
1030	一同宮京師御住居ノ旨ヲ布告ス	皇七十四年	七一
1031	一同宮御住居ヲ榮御殿ト稱セシム	皇七十四年	七二

(マイクロ
コマ番号)

- 1032 一 同宮拜借邸返上、付御道具類ヲ徳川新
三位邸へ運搬ス 三月廿日 七五
- 1033 一 皇后東京御著輿ノ節静寛院宮恐悦ノ事 三月廿日 七五
- ヲ候ス
- 1034 一 静岡藩静寛院宮御家事取扱ヲ松平確堂
ニ委託ス 三月廿日 七六
- 1035 一 静寛院宮系統 三月廿日 七五
- 1036 一 同上家来西京へ移住及旅宿々料等ノ處
ニ分 三月廿日 七五
- 1039 一 同上ヨリ静岡邸へ書状送達方照會 三月廿日 七五
- 1040 一 同上御用金ノ處分 三月廿日 七五
- 1042 一 同上家来ノ處分ヲ候ス 三月廿日 七五
- 1050 一 同上、賄料並化粧料ヲ賜フ 三月廿日 七五
- 1051 一 静寛院宮履歷ヲ調査ス 三月廿日 七五
- 1052 一 見親王、隨身兵仗ヲ賜ヒ昇殿ヲ聽ス 三月廿日 七五
- 1053 一 山階宮土州出金一條ニ因リ進退ヲ候ス 三月廿日 七五
- 1054 一 見親王復飾セシメテ以テ更ニ勸修寺門跡
ヲ置キ假ニ寺領ヲ分チテ親王ノ家祿
充ツ 三月廿日 七五
- 1055 一 山階宮ニ令シ國事諮詢ノ為メ親王總代
トシテ東上セシム 三月廿日 七五
- 1056 一 帝陸宮、大手ニ重橋外ニ下馬下乗セシ
ム 三月廿日 七五
- 1057 一 山階宮病氣ニ付歸京ス 三月廿日 七五
- 1059 一 同上天機伺ノ為メ東上尋テ歸京ス 三月廿日 七五
- 1061 一 同上履歷及家領調査 三月廿日 七五

(マイクロ
コマ番号)

- 1064 一 嘉彰親王、隨身兵仗ヲ賜フ 三月廿日 七五
- 1065 一 仁和寺宮居所並家来等ノ處分ヲ候ス 三月廿日 七五
- 1067 一 嘉彰親王ニ復飾セシメテ寺務ハ仁和寺門
跡ヲシテ管セシム 三月廿日 七五
- 1068 一 同上ニ令シ一切寺務總職ノ事ニ關係セ
カラム 三月廿日 七五
- 1069 一 兵部卿宮大坂ニ藏屋敷ヲ建設セシム 三月廿日 七五
- 1070 一 仁和寺宮改テ東伏見ト稱シ従来ノ僕從
舊ニ仍ラシム 三月廿日 七五
- 1071 一 東伏見宮東京ニ移住ス 三月廿日 七五
- 1072 一 同宮ノ經濟ヲ大藏省ニ管セシム 三月廿日 七五
- 1073 一 入道尊秀親王ニ命ジ日ニ朝堂ニ入テ機
務ヲ習ハシム 三月廿日 七五
- 1074 一 智恩院宮ニ復飾セシメ徳川ノ猶子ヲ止
ム 三月廿日 七五
- 1075 一 同上ヲ華頂宮ト改稱ス 三月廿日 七五
- 1076 一 尊秀親王ヲシテ博經親王ト復名セシム 三月廿日 七五
- 1077 一 華頂宮ニ蝦夷開拓ノ會議ニ出席セシム 三月廿日 七五
- 1078 一 同上天機伺ノ為メ下坂ヲ請フ其議ニ及ハ
サル者ヲ令ス 三月廿日 七五
- 1079 一 同上智恩院増上寺ノ獻本ヲ進達ス 三月廿日 七五
- 1080 一 同上元服及任官 三月廿日 七五
- 1081 一 博經親王ノ除服出任ヲ宣下ス 三月廿日 七五
- 1082 一 同上 三月廿日 七五
- 1083 一 東幸ニ付博經親王ニ御留守ヲ命ジ酒肴
ヲ賜フ 三月廿日 七五

マイクロ
番号

マイクロフィルム
リール番号

1

- 1084 一 華頂宮系統 ヲ賜フ 享和四年 百五
- 1085 一 全上 年頭獻納物ノ事ヲ候ス 享和五年 百五
- 1086 一 全上ニ復飾後ノ稱號ヲ探定セシム 享和五年 百五
- 1087 一 博經親王ノ一新ノ階職務拜命ノ辭令書 享和五年 百五
- 一 ヲ調査セシム
- 加陽宮 1088 一 加陽宮ヲ安藝ニ出ス 元享四年 百五
- 1093 一 全上ニ令シ居ヲ安藝ニ定メ其地ニ謹慎 元享四年 百五
- セシム
- 1095 一 全上ニ特旨ヲ以テ安藝ヨリ復歸セシム 元享四年 百五
- 祝井宮 1097 一 坐主官玄米ヲ獻納ス 元享五年 百五
- 1098 一 祝井宮ニ復飾セシム 元享五年 百五
- 1100 一 全上忌明 元享五年 百五
- 1101 一 祝井宮系統及家領調査 元享四年 百五
- 1104 一 全上所傳護良親王著藤長ヲ徵ス 元享五年 百五
- 1105 一 全上 年賦拜借金ノ内返納 元享五年 百五
- 1106 一 全上ニ特旨救助金ヲ賜フ 元享五年 百五
- 1107 一 全上 復飾後稱號ヲ改撰セシム 元享五年 百五
- 1108 一 全上ヲ梨木ト改稱ス 元享五年 百五
- 聖護院宮 1109 一 聖護院宮ニ復飾セシム 元享五年 百五
- 1110 一 全上ニ令シ修驗道ニ於テ管領官ト改稱 元享五年 百五
- セシム
- 1111 一 全上ヲ二品ニ叙シ隨身兵仗ヲ賜フ 元享五年 百五
- 照高院宮 1112 一 照高院ノ復飾ノ請ヲ允ス 元享五年 百五
- 1113 一 全上ノ修驗道管理ヲ止ム 元享五年 百五
- 1114 一 全上元服 元享五年 百五

マイクロ
番号

- 1119 一 照高院宮ヲ東京ニ召ス 元享五年 百五
- 1122 一 全上勤學ノ為メ有栖川宮ニ同居セシム 元享五年 百五
- 尋テ罷ム
- 1124 一 全上 復飾後稱號ヲ改撰セシム 元享五年 百五
- 1125 一 全上北白川宮ト改稱ス 元享五年 百五
- 1126 一 全上 聖護院門跡元支配所山林伐採ニ関スル事ヲ候ス 元享五年 百五
- 4127 一 北白川宮西京ニ旅行ス 元享五年 百五
- 聖護院宮 1128 一 輪王寺宮西上ノ逢次ヲ警衛セシム 元享五年 百五
- 1129 一 全宮ヲ伏見宮ニ出ス 元享五年 百五
- 1132 一 全宮ノ幽閑ヲ解キ實家ニ復歸セシメ終身祿ヲ賜フ 元享五年 百五
- 1135 一 輪王寺公現文學師家ニ通學ヲ許ス 元享五年 百五
- 1136 一 輪王寺宮履歷 元享五年 百五
- 1137 一 伏見宮四男公現ヲ有栖川宮同居セシム 元享五年 百五
- 1138 一 全上名ヲ能久ト改ム 元享五年 百五
- 1139 一 伏見能久ニ官跡ヲ賜フ 元享五年 百五
- 靜寛院宮 一 靜寛院宮遷京奉迎ノ為メ公御ヲ江戸ニ下ス 元享五年 百五
- 一 官職官制

マイクロ
番号

太政類典第一編第八卷索引

制度

種族

- 1146 一 甘露寺勝長^{慶長五年}在ナノ義子萬長^{慶長五年}為ノ堂上ニ
班シ松崎氏ヲ稱セシム
- 1147 一 北小路俊昌ヲ堂上ニ班ス
慶長五年
六月廿日
- 1148 一 岩倉具經ノ籍ヲ分テ堂上ニ班ス
元禄九年
- 1149 一 久我通城ヲ公上
元禄九年
- 1150 一 玉松操ヲ公上
元禄九年
- 1151 一 松崎延九玉松太夫ニ家祿并分賜米ヲ下賜ス
元禄九年
- 1152 一 若王子遠文復飾後新ニ堂上ニ班ス
元禄九年
- 1153 一 春日新神司松園隆温以下二十二人ヲ堂上ニ班ス
元禄九年
- 1156 一 上ニ準ス
一 春日旧社司及石清水社司等堂上格ノ願ヲ允サス
元禄九年
- 1161 一 南岩倉太郎麿西五辻龜麿野常麿小松仙麿ヲ實家ニ復シ華族ニ列シ終身祿ヲ下賜ス
元禄九年
- 1162 一 徳川常三郎ヲ清水ノ家ヲ絶カシメ華族ニ列ニ班ス
元禄九年
- 1163 一 久我通城ニ永世祿ヲ賜ヒ京都府ニ貫ス
元禄九年
- 1166 一 壬生輔世ヲ終身華族ノ列ニ班ス
元禄九年
- 1167 一 淺野長厚ノ華族ノ列ヲ退カンテヲ請フ
元禄九年
- 1169 一 蜂須賀茂韶以下六名ニ國事諮詢ノ為ニ
元禄九年

マイクロ
番号

- 1170 一 隔日出仕セシム
一 伊達宗城ニ國事諮詢ノ為ノ隔日出仕セシム
元禄六年
- 1171 一 鍋島茂實ノ辭職ヲ聽シ尚ホ國事諮詢ノ際ハ在職ノ心得ヲ以テ出仕セシム
元禄六年
- 1172 一 大原從二位國事諮詢ノ為メ麿春間祿候ヲ命ス
元禄六年
- 1173 一 中御門經之ヲ麿春間祿候ト為ス
元禄六年
- 1174 一 公工ノ辭職ヲ聽シ國事諮詢之際出仕セシム
元禄六年
- 1175 一 鹿兒島藩知事島津忠義ニ麿春間祿候ヲ命ス
元禄六年
- 1176 一 公上上京ノ勞ヲ慰シ國事諮詢ノ際無忌憚建言セシム
元禄六年
- 1177 一 山口藩知事毛利元徳上京ノ勞ヲ慰シ國事諮詢ノ際無忌憚建言セシム
元禄六年
- 1178 一 松平慶永ニ令シ國事諮詢ノ際無忌憚建言セシム
元禄六年
- 1179 一 徳川慶勝淺野茂勲細川慶順ニ麿春間祿候ニ出仕セシム
元禄六年
- 1180 一 伊達宗城ヲ麿春間祿候ト為ス
元禄六年
- 1181 一 舊大臣ヲ麿春間ニ參セシム
元禄六年
- 1182 一 從一位鷹司輔照ヲ麿春間祿候ト為ス
元禄六年
- 1183 一 從二位毛利敬親ニ麿春間ニ參セシム
元禄六年
- 1184 一 正二位松平慶永ヲ麿春間祿候ト為ス
元禄六年
- 1185 一 從三位池田茂政ヲ同上
元禄六年

第一編 一 制度

二二二

議職務 1186 一堀川三位左京大夫ニ御留守中林和靖間

詰加都ヲ命ス

1187 一坊城俊政ヲ林和靖間詰ト爲ス

1188 一中山前中將ヲ近習ニ加ヘ日參ヲ免ス

1189 一太宮桂宮女御ノ祿候ヲ定ム

1190 一西三條大納言以下五名ニ御膳水供御

1191 一安陪家重服權家幼少ナルヲ以テ末家ヲ

以テ權家ノ裕ヲ以テ神樂御用ヲ勤メ

1192 一若王子ニ復飾ヲ命シ其家等居所知行所

等姑ク舊ニ仍ラシム

1193 一廣幡内大臣ニ隨身兵仗ヲ賜フ

1194 一若王子大夫ニ昇殿ヲ聽ス

1195 一久我從五位ノ元服昇殿ヲ聽ス

1196 一北小路從五位ノ全上

1197 一唐橋從五位ノ全上

1198 一山井從五位ノ全上

1199 一從五位梶尾行篤從五位小松行敏ノ全上

1200 一南岩倉從五位ノ全上

1201 一一條從五位ノ全上

1202 一從五位山崎治敏ノ全上

1203 一慶田從五位ノ全上

1204 一鍋島從五位ノ全上

1205 一滋野井從五位ノ全上

1206 一分部從五位ノ全上

1207 一西五辻從五位ノ全上

1208 一酒井從五位ノ全上

1209 一池田輝知ノ全上

1210 一池田輝知ヲ從五位ニ叙シ全上

1211 一從五位河鱈公篤ノ元服昇殿ヲ聽ス

1212 一從五位土御門晴家及從五位本多正憲ノ全上

至

至

至

至

至

至

1207 一西五辻從五位ノ全上

1208 一酒井從五位ノ全上

1209 一池田輝知ノ全上

1210 一池田輝知ヲ從五位ニ叙シ全上

1211 一從五位河鱈公篤ノ元服昇殿ヲ聽ス

1212 一從五位土御門晴家及從五位本多正憲ノ全上

1213 一本多正憲ヲ從五位ニ叙シ全上

1214 一園池實康元服願

1215 一從五位叢實休ノ元服昇殿ヲ聽ス

1216 一山崎治敏ヲ從五位ニ叙シ全上

1218 一三田藩知事丸尾隆義歸商願ヲ許ス

1224 一東京府華族非役ノ者名簿

1225 一吉井信謹父子ノ稱呼ヲ令ス

1226 一尾紀水三藩所屬成瀬隼人正等五家ヲ藩屏ニ列ス

1227 一吉川監物ヲ藩屏ノ列ニ加フ

1230 一橋田安ヲ全上

1232 一山崎主税助以下六名ヲ藩屏ニ列ス

1245 一毛利宰相末家毛利宗五郎外三名順次ヲ定ム

1246 一毛利親親末家吉川駿河守ノ勤勞ヲ賞シ

1247 一更ニ城主格ニ進ム

1250 一鎮將府一橋茂燦田安慶頼ノ新ニ藩屏ニ列シ兵備充實セサルヲ以テ命シテ家達

至

至

至

至

至

至

1251

ノ舊臣ヲ収養セシム
一 安藤直裕成瀬正肥書ヲエリ新ニ藩屏ニ
列セシテ以テ判物ヲ下付センコトヲ請
キ
元享元年
五

1252

一 安藤飛騨守外一名紀藩政事ニ關係スル
ヲ止ム
元享元年
五

1253

一 成瀬隼人正ニ尾藩政事向ヲ委任ス
元享元年
五

1254

一 諸藩祿額ヲ以テ大中小三等ニ區別ス
元享元年
五

1266

一 家格嫡子庶子隠居等明細書ヲ差出サレ
ム
元享元年
五

1267

一 鎮將府管下諸侯ヲレテ襲封及ヒ叙任ノ
年月日ヲ録上セシム
元享元年
五

1272

一 諸侯ニ申令シテ襲封叙任及ヒ年齢等ヲ
録上セシム
元享元年
八十

1279

一 藩制ヲ分テ大中小ノ三ト為ス
元享元年
全

太政類典第一編第九卷索引

制度

種族

- 1286 一 小舎人雜色ニ令レ請テ聽セラテ直參觸頭慶長十年三月六日
- 1287 一 舊旗下士ノ封戸家系等ヲ録上セシム元禄四年
- 1351 一 官人中官堂上ニ肩入ト稱シ家士トナルヲ停止ス元禄四年
- 1353 一 非藏人北面ノ跡ヲ存シ合一勤セシム又元禄四年
- 1354 一 德川氏ニ令シ旗下歸順ノ者ヲ朝臣ト爲ス元禄五年
- 1355 一 舊高家交代寄合以下ノ歸順セシ者ヲ朝臣ニ列シ其禄ヲ復ス元禄五年
- 1359 一 徳川家士典力同心ノ歸順スル者ヲ調査シ其姓名俸禄等ヲ録上セシム元禄五年
- 1361 一 高家交代寄合等ノ稱アル濫觴ヲ調査録上セシム元禄五年
- 1365 一 高家旗下ノ京ニ在ル者ニ令シ其率ユル銃隊ノ人員ヲ録上セシム元禄五年
- 1385 一 高家交代寄合ヲ中大夫寄合兩番席以下及席々千石以上ヲ下大夫兩番席以下席千石以下百石ニ至ルマテ上士ト稱セシメ各觸頭ヲ置ク元禄五年
- 1391 一 高家交代寄合以下ノ舊稱ヲ廢シ中大夫元禄五年

- 1392 一 下大夫上士ノ三等ニ列ス元禄五年
- 1393 一 徳川家臣ノ官位ヲ止ム元禄五年
- 1394 一 所奉行組典力同心ヲ鎮臺府ニ附属シ俸禄等舊ニ仍リ之ヲ賜フ元禄五年
- 1395 一 徳川家臣ノ俸ヲ其家ニ得ル者ノ外朝臣ヲ請ヒシモノ、姓名格式等ヲ録上セシム元禄五年
- 1396 一 高家ノ輩ヲ朝臣ト爲ス元禄五年
- 1399 一 東山道鎮撫使ニ令シ中下大夫上士ノ領地等傍近府縣ヲシテ管セシムルヲ以此旨ヲ各國諸藩ニ通セシム元禄五年
- 1400 一 徳川家士ノ甲府勤番ノモノ、シテ朝臣ヲ請フモノハ總テ其地ニ住居セシム元禄五年
- 1401 一 徳川氏ニ令シ其家士ノ扶助ヲ請フモノ松式及居所姓名等ヲ録上セシム元禄五年
- 1402 一 中下大夫上士ニ賜暇歸邑セシムルモ其少壯子弟等ニ至リテハ滞京文武ヲ講究セシム元禄五年
- 1407 一 徳川家達ニ命シ藩士ノ暴横ニシテ其歸順者ヲ妨クルノ輩ヲ戒飭セシム元禄五年
- 1408 一 徳川魚之助家来諸伺鎮將府東京府ニ於テ取扱方ヲ定ム元禄五年
- 1409 一 中大夫以下ノ輩ニ東京定府ヲ命ス元禄五年
- 1410 一 鎮將府ヲ廢スルヲ以テ其附屬等ヲ行政元禄五年

マイクロ
コマ番号

- 1411 官、隸ス
一 東京府、今レ徳川旗下等浮浪ノ輩ヲ調元正月廿査處置セシム 三五
- 1412 一 日光縣下元交代等合高家等ノ者諸事取元正月扱方 三五
- 1413 一 京都在任ノ中下大夫上士、東京、移ラ元正月廿シム 三五
- 1414 一 車駕京師ニ選幸アルモ中大夫等ノ願伺元正月廿届ハ東京辦事ニ進達セシム 三五
- 1415 一 中大夫以下諸事心得方ヲ候ス 元正月廿
- 1418 一 會計官ニ令レ徳川家士、シテ從來ノ職元正月廿務ヲ命セラル、モノ知司事以下姑ク之ヲ罷メ後命ヲ致タシム 三九
- 1420 一 東京定府ヲ命セラル、中下大夫等更元正月廿替ク京師ニ滞在セシム 三五
- 1421 一 八王子元同心ヲ軍務官、隸屬ス 元正月廿
- 1422 一 行政官軍務官支配附等ノ者在官中ハ綱元正月頭ノ手ヲ離レ各官知事ノ配下ニ屬セシメンテ候ス 三五
- 1423 一 十津川郷士ノ處分ヲ令ス 元正月廿
- 1424 一 戊辰以來社寺民政市政三裁判所ノ出仕元正月廿セシ舊幕臣ノ姓名又其履歴ヲ調査セシム 三五
- 1425 一 徳川家士別手組八十人ヲ軍務官、隸屬元正月廿ス 三五
- 1426 一 東京再幸、付諸藩士ハ勿論公卿ノ附屬元正月廿 三五

マイクロ
コマ番号

- 1427 一 別手組ノ者朝臣願ノ處分元四月メ諭告セシム 三五
- 1443 一 大夫士以下官、就ク者其長官ノ管轄、元正月廿屬セントス 三五
- 1444 一 奈良府所屬ノ十津川郷ヲ軍務官、隸ス元正月廿
- 1445 一 府縣附屬ノ舊幕旗下家人朝臣ノ列、加元正月廿扶助セルモノ、姓名俸禄等ヲ調査録上セシム 三五
- 1446 一 行政官支配等ヲ辨官ノ支配トナス 元正月廿
- 1447 一 大原郷士ノ處分 元正月廿
- 1449 一 舊幕府典力同心官没ノ舊邸宅並姓名調元正月査 四五
- 1453 一 上士ニ去閑番ヲ命ス 元正月廿
- 1454 一 宇和島士族卒ノ區別 元正月廿
- 1455 一 士族卒ノ區別方 元正月廿
- 1457 一 兵部省附屬ノ者五百八十六人ヲ東京府ノ貫族トナス 元正月廿
- 1460 一 士族卒、聞ヌル諸條ヲ稟請ス 元正月
- 1470 一 津藩士族卒歸農商志願、任ス 元正月廿
- 1471 一 大網藩士卒新規抱及歸農商處分方 元正月廿
- 1472 一 菰野藩士族卒歸農處分方 元正月廿
- 1474 一 淡路藩士族卒歸農商處分方 元正月廿
- 1476 一 西大路藩士族卒邸地居住ノマ、歸農 元正月廿
- 1477 一 静岡藩士他府藩縣、歸農願ノ者送籍處元正月分 三五

マイクロ第一編
一制度

1478

一 朝日山藩士族士籍ヲ脱セス他管或管内 四五月廿日 五六

1479

一 松尾藩士族卒歸農商處分方 四五月廿日 五七

一 諸藩一門以下平士、至ルマテ總士族ト

稱ス地方官職

一 大夫士以下ノ稱ヲ廢シ士族卒ト稱シ五六月廿日

制ヲ定メ地方官ノ貴族トナシ四、理財、祿制

一 士族卒ノ外別ニ叙アラシメス地方官職、地方官職、地方官職

一 元輪王寺官家未扶助金下賜農商ノ内へ五六月廿日

歸籍九、理財、祿制

一 官奉族家末三代以下復籍者へ手當金下五六月廿日

賜祿制、四

マイクロ本政類典第一編第十卷索引
コマ番号 制度

種族五

- 0024 一 朝臣并大失士列 一品川侍従以下高家ノ諸氏ヲ朝臣ト為ス 三十五年五月廿七日
- 0025 一 岸和田藩分家岡部鍾八郎朝臣列京師住 三十五年七月廿七日
- 0026 一 村岡藩末家山名義包朝臣列ノ願期限ニ 三十五年七月廿七日
- 0027 一 高家交替寄合等ヲ中下大夫上士ト為ス 三十五年九月廿七日
- 0029 一 平川和太郎ヲ東京府貫屬士族ト為ス 三十五年九月廿七日
- 0030 一 澤田真造同震太郎ヲ東京府ノ貫屬ト為ス 三十五年九月廿七日
- 0031 一 北島從五位ヲ東京府貫屬ト為ス 三十五年五月廿七日
- 0032 一 元任丁中村義次ヲ東京府貫屬卒ト為シ 三十五年五月廿七日
- 0033 一 元非藏入北面元典醫等ヲ東京府貫屬士族ト為ス 三十五年五月廿七日
- 0038 一 官華族ノ三代相思家士ヲ東京府貫屬士族ト為ス 三十五年五月廿七日
- 0040 一 藤井直幸以下三名ヲ東京府ノ貫屬士族ト為ス 三十五年五月廿七日
- 0041 一 東京府士族関月顯之族祿返上願并願下 三十五年四月
- 0043 一 吉井藩士族卒調査上相違ノ者ノ貫屬ヲ 三十五年五月廿七日
- 0045 一 長崎縣大參事石田忠郷ヲ東京府ノ貫屬 三十五年五月廿七日

マイクロコマ番号

- 0046 一 有栖川官家士舊水戸藩士等ヲ東京府ノ貫屬士族ト為ス 三十五年五月廿七日
- 0048 一 元十津川郷士前田清三吉田俊男及少史 三十五年六月
- 0050 一 舊籍ヲ離レ王事、勤勞ニ京攝ノ間ニ在 三十五年
- 0096 一 大覺寺家末森清光外三名士族、編入、 三十五年六月
- 0097 一 本願寺等ノ三代家士ヲ京都府貫屬士族ト為ス 三十五年六月
- 0106 一 坂川親廣ノ家士小川左守ヲ京都府貫屬士族ニ編ス 三十五年六月
- 0108 一 元妙法院家末岡本保作士族編入、付社 三十五年五月廿七日
- 0109 一 若松縣少參事齊藤六藏族籍處分ヲ候ス 三十五年五月廿七日
- 0111 一 元第三遊軍隊遠藤七郎外二名新潟縣一 三十五年五月廿七日
- 0113 一 元武田家浪士ヲ甲府縣貫屬卒ニ編ス 三十五年五月廿七日
- 0114 一 生野縣少參事曾根典之助ヲ民籍ニ大属 三十五年五月
- 0116 一 山口藩士族久坂文齋育南郡幹太郎暨學 三十五年五月
- 0117 一 大阪府權大属桃井春藏族祿處分 三十五年五月廿七日

マイクロ番号

- 0118 一樂人ノ奈良ニ在ルモノヲ其縣ノ貫屬士族ニ編入ス 三月 廿八
- 0119 一井出正章ヲ兵庫縣貫屬士族トナス 三月 九
- 0120 一刈谷藩知事土井利教貫屬士族卒ノ世祿ヲ歸田セシメント請フ之ヲ許ス 三月 三
- 0123 一專修寺ノ家士ヲ津藩ノ貫屬士族卒ニ編入ス 三月 三
- 0125 一高松藩新田家後胤脇武四郎ヲ士族ニ編入セントラ請フ 三月 三
- 0130 一河邊教長ヲ度會縣貫屬士族ト爲ス 三月 三
- 0131 一觸頭ノ撰命ス 三月 三
- 0133 一鎮將府附屬ノ輩ノ觸頭ヲ撰命ス 三月 三
- 0134 一觸頭住所姓名 三月 三
- 0138 一辨官附觸頭ヲ撰命ス 三月 三
- 0139 一同部鐘八郎ヲ辨官支配ト爲ス 三月 三
- 0140 一府縣貫屬元大夫美同心ノ輩身分調査 三月 三
- 0141 一輪王寺ノ東京在住ノ家々東叡山目代手 三月 三
- 0142 一中等大夫等官ニ在ルモノハ其觸頭ノ管轄ヲ除キ其官省ニ管セシム 三月 三
- 0143 一華族ノ家々扶家從等相當ノ人員ヲ殘ニ其他從來ノ從者ハ悉ク地方官ノ貫屬ト爲ス 三月 三
- 0144 一高知藩知事ノ請フ允ビ松島和助樋口干城ノ軍曹ヲ免ビ復籍同藩ニ貫セシム 三月 三

マイクロ番号

- 0147 一軍曹ノ稱ヲ廢シ士族ニ編入ス 三月 三
- 0151 一兵部省附屬別手組ヲ東京府ノ屬トス 三月 三
- 0154 一京都府士族卒在官中ノ取扱ヲ定ム 三月 三
- 0155 一諸藩士族卒ノ區別 三月 三
- 0163 一官華族家人職員ヲ定ム 三月 三
- 0167 一官華族ノ家士三代相恩ノ者ヲ調査セシム 三月 三
- 0169 一官員并官華族ノ京都府人民ヲ家從ト爲スモノハ豫メ本府ノ許可ヲ得ルノ後ニ於テセシム 三月 三
- 0170 一舊官人ノ現存スル者位階通稱姓名實名等ヲ詳記シ差出サシム 三月 三
- 0171 一元長崎奉行支配ノ者士族卒分界等ノ處分 三月 三
- 0172 一社家ノ官華族ノ家士ヲ兼テ三代以上ニ且ルモノハ一面ノ專屬セシム 三月 三
- 0173 一華族ノ府藩縣貫屬士族ヲ借リ雇用スルモノハ政府ニ請フヲ要セス其官廳ノ便宜ニ從ハシム 三月 三
- 0174 一府縣貫屬中幕府ノ時ニ在リテ躑躅ノ間ノ待遇ヲ受ケシモ改テ譜代タルノ命ナキモノハ卒ト爲ス 三月 三
- 0176 一福島縣下元半田銀山方中藤卯兵衛以下族籍處分ヲ候ス 三月 三
- 0177 一官華族三代相恩ノ家士終テ士族卒ニ編入ス 三月 三

マイクロ
コマ番号

0178 一非藏人北面舊官人執次使番任丁等ノ名 四三五月十日 欠

0179 一稱テ廢シ郡テ士族卒ト考ス 一官華族ノ家士三代以下ノ者ハ舊籍ニ復サシム 四三五月十日 欠

0181 一京都府有位士族ノ觸頭取扱方 四三五月十日 卒

0183 一廣瀨藩勤勞アル者ヲ終身士列ニ置クヲ許ス但子孫ハ元籍ニ編入セシム 四三五月十日 空

0184 一三代相恩者ノ答禮心得方ヲ令ス 四三五月十日 空

0185 一官華族三代以下ノ家士復籍等ノ願書按テ定ム 四三五月十日 空

0190 一伯太藩士族卒歸農商處分方 四三五月十日 空

0191 一奈良縣へ卒ノ取扱方ヲ通牒ス 四三五月十日 空

0192 一無祿ニシテ士族ニ編入スル取扱方ヲ京都府ニ牒ス 四三五月十日 空

0196 一諸藩士ノ東京府貴屬タル者元目見以上ハ士族其以下ハ卒ニ編入ス 四三五月十日 空

0197 一元軍曹并其他ノ終身祿ヲ賜フモノ更ニ承世士族ニ編入ノ旨ヲ東京府ニ令ス 四三五月十日 空

0203 一本願寺等各院家士三代以上ノ者ハ地方官ニ貴シ士族卒ニ編シ其以下ハ終テ復籍セシム 四三五月十日 空

0204 一松尾藩元士族卒ノ内無祿ニテ復籍ノ者身分取扱方 四三五月十日 卒

0205 一坊官候人等ノ稱ヲ廢シ蕃駿シテ地方官ニ貴セシム 四三五月十日 卒

0206 一門跡比丘尼御所院家院室ノ家士三代相 四三五月十日 卒

マイクロ
コマ番号

0207 一恩者ハ總テ地方官ニ貴シ士族卒ニ編入ス 四三五月十日 卒

0208 一諸門跡比丘尼御所等三代以上ノ家士族ノ籍處分方 四三五月十日 卒

0209 一諸門跡比丘尼御所等家士ノ内舊籍へ復籍ノ者並拜借雇入等ノ者姓名年月等調査 四三五月十日 卒

0210 一東京府貴屬卒ノ者身分處置方ヲ候ス 四三五月十日 卒

0210 一東京府貴屬卒ノ者身分處置方ヲ候ス 四三五月十日 卒

太政類典第一編第十一卷索引

制度

種族六

- 0219 一 諸國百姓町人苗字帶刀其他ノ由緒調査 延享元年 一
- 0249 一 門人等ノ名目ヲ以テ師家ヨリ私ニ帶刀 延享元年 二
ノ許スヲ止ム
- 0250 一 京都府ノ建議ヲ採用シ自領外ノ用違出 延享元年 三
入ノ者ニ苗字帶刀ヲ許スヲ禁ス
- 0252 一 伊那縣下信州御科百姓舊幕府ヨリ苗字 延享元年 四
帶刀諸役免除ノ者處分方
- 0254 一 百姓町人苗字帶刀扶持給與諸役免除等 延享元年 五
ヲ廢ス
- 0266 一 京都府下大軍寄役以下苗字帶刀免許處 二年一月 六
分
- 0269 一 久美瀨縣下郷士及農高帶刀許否ノ處分 二年一月 七
- 0272 一 葦山縣下段右衛門父子全數調達等ノ賞 二年三月 八
トレヲ苗字ヲ許サレシメテ請フ
- 0273 一 學校出任錢屋藤藏ニ苗字帶刀ヲ許ス 三年六月 九
- 0274 一 平民苗字ヲ許ス 三年九月 十
- 0277 一 高松藩名主及平民功勞アル者舊ニ仍リ 三年十月 十一
帶刀セシメント請フ允サス
- 0278 一 天社神道門人ト稱シ兩刀ヲ帶スル等ヲ 三年閏七月 十二
禁ス
- 0280 一 百姓町人權高袴割羽織ヲ著シ長脇差ヲ 三年十月 十三
帶スルヲ禁ス

- 0282 一 農工商ノ輩許可ナク帶刀ヲ禁ス 三年五月 十四
- 0285 一 三府舞太夫ノ徒帶刀ヲ禁ス 四年三月 十五
- 0286 一 村町里正平常一刀ヲ帶シ平百姓町人ハ 四年五月 十六
吉凶禮式及非常旅行ノ節一刀ヲ帶スル
- 0287 一 堺縣下平民八尾源太郎外一名ノ帶刀ヲ 四年四月 十七
止ム
- 0289 一 渡田縣下茶峯頭鉢屋頭ノ苗字帶刀ヲ許 五年五月 十八
可セシメテ請フ
- 0290 一 鶴田藩管下町人百姓總髮願 五年一月 十九
- 0291 一 一般人民薙髮ノ處分方 五年九月 二十
- 0292 一 平民乘馬ヲ許ス 五年閏十月 廿一
- 0296 一 百姓町人未勤ト唱ヘ官堂上ノ家未分ト 五年十月 廿二
身分0296
- 0297 一 江戸年寄樽後之助外六名鎮臺府附 五年十月 廿三
ナルヲ止ム
- 0298 一 彈内記市政裁判所附 五年十月 廿四
- 0299 一 徳川舊家未歸農商ノ者其所府縣ノ支配 五年六月 廿五
ニ屬セシム
- 0300 一 長崎縣養式及虛無僧等ノ處分 五年五月 廿六
- 0303 一 伊那縣下信州長畝村岩九郎大學寺門跡 五年一月 廿七
館入雇入ニ付處分方
- 0304 一 京都府下伊藤德藏身分心得方 五年五月 廿八
- 0306 一 鍛冶職三品近江身分取扱方 五年八月 廿九
一朱座ト唱ヘ受領地等所持ノ者ヲ廢ス
- 0308 一 久居藩管下和爾村殉臣ノ後裔ヲ穢多同 五年五月 三十
載ス

(リール番号)

- 0312 一 祝スルノ俗ヲ改ムルヲ請フ
一 諸藩用達ノ者ヲ藩廳ニ於テ士族卒ニ召
抱テ許サス共ニ 三十八月十日 三十一
- 0315 一 岩鼻縣下神事舞太夫横山八郎次學業願 三十八月十日 三十一
ノ伴東京府ハ合議セシム
- 0318 一 陰陽道聽務者處分 三十九月十日 三十一
- 0319 一 仙臺藩管下檢校盲人配當代ノ處分 三十九月十日 三十一
- 0320 一 座頭差配ノ事ヲ候ス 四十年五月 三十一
- 0321 一 濱田縣下鑄物師山根八郎等身分取扱方 四十年二月 三十一
- 0333 一 東京府下總録檢校以下雜業藝人非人等 四十年四月八日 三十一
ノ農高籍或ハ彈直樹支配籍ノ區別調査
- 0335 一 同府下士族卒ノ内能役者本阿彌畫師古 四十年四月 三十一
筆見遣歌師國恭將恭師樂人等ノ處分
- 0337 一 京都府卒吉田彌一外一名車牛付托ヲ廢 四十年四月七日 三十一
ス
- 0338 一 同府下儒醫高科ノ内學術ヲル者一代限 四十年五月十日 三十一
士族
- 0339 一 同府下秤師枡師従前ノ通り据置 四十年五月 三十一
- 0341 一 奈良縣下元猿樂今春八郎外二名身分免 四十年七月 三十一
給與米ノ處分

マイクロフィルム番号

大政類典第一編第十二巻索引

制度

種族七

- 0353 一 静岡藩ノ暇ヲ受シ者其町ノ町籍ニ編入 元八月
- 0354 一 天川御位衆ヲ五條縣ノ民籍ニ編入 元五月七日
- 0375 一 篠山藩管内弓箭組復籍 元九月廿五
- 0385 一 首木藩士族卒歸農 元閏四月廿
- 0386 一 元代官手代ノ者入籍處分但扶助ヲ給セ 元五月
- 0390 一 浦和縣權大属田中直人民籍ニ編入 元五月
- 0392 一 年久藩一代抱兵卒歸農處分 元五月廿四
- 0395 一 舊幕府代官手代ノ者給祿ヲ止メ農商ノ内ニ歸籍セシム 元五月
- 0397 一 大聖寺藩兵卒定數發令ニ依リ卒冗員ノ介歸農 元正月十日
- 0398 一 伊那縣士族坐光寺為舊家来民籍ニ編入 元正月
- 0400 一 京都府下舊幕府附ノ者歸農前 元二月廿四
- 0402 一 佐渡縣貫属元地役ノ者ニ手當全ヲ給シ 元五月
- 0432 一 仙臺藩士族柴田源三郎旧家来歸農處分 元三月廿四
- 0434 一 華族久我建通家来石崎正知願ニ依リ民籍ニ編入 元四月
- 0438 一 岡山藩末家池田徹之丞外一名元家来後 元四月
- 0449 一 同藩末家池田福次郎家来同上 元五月十日

マイクロフィルム番号

0450

- 0450 一 神奈川縣卒山崎政吉外三名ノ手當ヲ給シ民籍ニ編入 元六月
- 0455 一 神奈川縣卒宗田三十郎歸農 元七月
- 0456 一 東京府貫属木阿彌雅太郎ニ手當ヲ給シ民籍ニ編入 元六月
- 0460 一 千束藩卒川上一郎外歸農 元六月
- 0461 一 松本藩管下木曾外手民籍ニ編入 元五月廿
- 0463 一 京都府卒舊官人等營業ノ者家祿ヲ一時ニ賜ヒ町籍ニ編入 元七月

ロマ番号

太政類典第一編第十三卷索引

制度

忌服

- 0471 一 服忌ノ制姑ク舊慣ニ依ラシム 元正二月九日
- 0472 一 是ヨリ先池田章政入リテ宗家ヲ承ケ子 元正四月三日
政保其後ヲ嗣ク是日政保書ヲ上リ父祖
ノ喪服ヲ請問ス
- 0475 一 正忌ハ太政官ニ於テハ憚ルニ及ハス 元正四月廿日
- 0476 一 久我大納言ノ故障引籠別勅ヲ以テ出仕 元正二月二日
セシム
- 0477 一 除服出仕ノ稟告ハ之ヲ辨官事ニ止メシ 元正九月廿日
ム
- 0478 一 奈良府判事早川浩藏除服知事ヨリ連セ 元正九月
シム
- 0479 一 忌服ノ例規ヲ質疑ス 元正五月
- 0484 一 重軽服者四方拜ハ憚リ拜旗ハ憚ルニ及 元正二月廿日
ハス
- 0485 一 除服出仕ノ宣下ハ之ヲ止メ忌明ノ日ヲ 元正五月廿日
豫メ稟告セシメ其日ヲ以テ隨意ニ出仕
セシム
- 0486 一 服忌令ハ従前朝廷ニテ用未ノ制ヲ用ヒ 元正五月
シム
- 0487 一 伯太藩宣毅裁少参事柁原景晴忌服及出 元正五月廿日
仕ノ手續ヲ候ス
- 0488 一 學校生徒父等ノ忌服半減ヲ以テ出校 元正四月六日
ヲ許サス

(マイクロ
ロマ番号)

- 0489 一 輕重服ノ區別ヲ候ス 元正五月廿日
- 0490 一 産穢別勅ヲ以テ免シ難キ旨ヲ令ス 元正二月
- 0491 一 産穢別間ノ節ハ産穢ニ及ハス 元正五月
- 0492 一 天神地祇祭壇ノ旨ヲ令ス 元正五月廿日
- 0493 一 天神地祇ヲ商殿ニ祭リ公卿諸侯等ト摺 元正五月廿日
約ヲ為ス
- 0522 一 詔シテ慶應四年ヲ改メ明治元年ト為ス 元正八月八日
- 0540 一 改元ノ獻物嘉永元年ノ舊例ニ依ル 元正九月廿日
- 0541 一 伏見練兵場ニ於テ起頭砲ヲ發ス 元正三月廿日
- 0542 一 河東練兵場ノ合信砲ヲ止ム 元正五月廿日
- 0543 一 京都府報時鼓ヲ施行セシム 元正五月
- 0546 一 城中太鼓撰人負ノ事ヲ候ス 元正四月
- 0547 一 戸田采女正元服ノ期ニ至ルモ前駁ヲ判 元正五月廿日
テス總駁ノマ、ニス
- 0548 一 朝日山藩士族卒廢刀勝手ニ任ス 元正六月廿日
- 0549 一 久美濱縣佩刀ノ規則ヲ候ス 元正五月
- 0550 一 徳川慶喜書ヲ上リ在京諸侯及ヒ藩士ヲ 慶喜元年
召レテ外國事務ヲ商議セント諸フ是日
之ニ批ス
- 0560 一 諸藩ニ令レテ上京セシム 慶應元年十
月廿日
- 0561 一 參興大久保利通遷都ノ議ヲ上ル 元正五月廿日
- 0564 一 越前宰相等六藩ノ建言書ヲ以テ桂宮ニ 元正五月
呈示ス
- 0565 一 諸藩ニ世祿家格ノ制ヲ廢シ賢才ヲ登用 元正四月廿日
シ國政ヲ改正セシム

(マイクロ)
リール番号

- 0567 一 華頂宮徳川慶喜處分衆議ニ從ハント
元禄四年
三十一
ヲ上答ス
- 0568 一 駿河以東諸侯及中下大夫等願何届鎮將
元禄四年
三十一
ニ出サレノ又其諸侯ハ公務人ヲ東京へ
出サレム
- 0569 一 東行ニ付駿河以東諸侯ニ東京へ參觀セ
元禄四年
三十一
ル
- 0570 一 蝦夷地百姓總代ノ張訴ヲ刑部省ヨリ呈
元禄五年
三十一
進ス
- 0575 一 照高院官武備皇張ノ建議
元禄八年
三十一
- 0577 一 京都三條橋側ニ月安箱ヲ設ク
元禄九年
三十一
- 0579 一 大政官日誌中文字ノ謬ヲ指摘月安箱ニ
元禄九年
三十一
投入ノ者忌諱ナク姓名ヲ記載スヘキヲ
令ス
- 0580 一 越後口總拵嘉彰親王理應ヲ軍門ニ置キ
元禄九年
三十一
庶民ノ訴状ヲ受ク
- 0581 一 東海中山兩道宿驛ニ月安箱ヲ設置ス
元禄十年
三十一
- 0584 一 匱訴ノ内建白并歎願書等管轄府縣ニ於
元禄十年
三十一
テ取捨ヲ鑒別シ下情ヲ通暢セシム
- 0585 一 月安箱揭示
元禄十年
三十一
- 0586 一 月安箱ニ投入スルモノノ内私怨ヲ以テ
元禄十年
三十一
人ヲ讒リ又ハ御筋筋ヲ名トシ一巳ノ利
ヲ管ムノ類ハ封ノ儘焼捨スヘキヲ以テ
實意ニ申出ントスルモノハ居所姓名ヲ
認メ印形ヲ押捺セシム
- 0587 一 三條月安箱無名ノ投書處分方
元禄十年
三十一

(マイクロ)
リール番号

- 0588 一 京都府月安投書箱ノ儘宿守官ニ進達方
元禄九年
三十一
ニ月安箱投書無名無印ノモノ東京府門前
ニ於テ焼却其音ヲ揭示セシム
- 0590 一 東海道宿驛同安箱ヲ廢ス
元禄九年
三十一
- 0591 一 月安箱ヲ廢ス
元禄九年
三十一
- 0592 一 京都府月安箱自今同府ニ於テ開函
元禄十年
三十一
- 0593 一 越訴函訴准判規程ヲ定ム
元禄十年
三十一
- 0595 一 高札ノ表ニ背キ投訴スルモノハ採用セ
元禄十年
三十一
ス
- 0596 一 佐倉川越兩藩管下百姓ノ函訴ヲ審理ス
元禄十年
三十一
ヘキニヨリ民部省聴訟所へ出頭スヘキ
旨ヲ揭示セシム
- 0597 一 北陸道總拵高倉永祐舊新潟奉行白石千
元禄十年
三十一
別ヲ行營ニ召ヌ時ニ千別病アリ俸吏田
中光儀代リ至ル永祐命レテ其舊管地ノ
簿書ヲ齎シ入京セラ之ヲ上ラシム光儀
徳川慶喜ニ告ヲ命ヲ奉セント請フ之ヲ
聽ス既ニシテ千別職ヲ罷メ光儀再ヒ新
潟ニ至ル會津以下ノ逋逃者交来リテ脅
迫ス是日光儀本廳ノ事務ヲ米澤藩ニ交
付シ書ヲ官軍ニ遺リテ其状ヲ報ス
- 0617 一 弘前藩士魚平理左衛門外宅名訴訟彈正
元禄十年
三十一
臺ニテ審理ス
- 一 徳川内府大政返上將軍職辭退後古始末
元禄十年
三十一
ス載
- 一 攝關幕府廢絶總裁議定參與ヲ置ク等則
元禄十年
三十一

第一編
一制度

載ス 德別ニ
 一 徳川祖先ノ制度美事良法ハ變更セシメ
不復古始末政權
又返上、載ス
 一 宣命使ヲ發シ大政復古ヲ後月輪東陵ニ
告ク、教法ニ止陵

三七

マイクロ
フィルム
番号

太政類典第一編第十四卷索引

制度

雜

0638	一 毛利島津鍋島山内四家上書シラ版籍ヲ 奉選セシメテ請フ	享和元年	一
0641	一 池田中将版籍奉選ヲ請フ	享和元年	二
0642	一 島津淡路守版籍奉選ヲ請フ	享和元年	三
0643	一 細川中将外二名版籍奉選ヲ請フ	享和元年	四
0645	一 松平出羽守公上	享和元年	五
0647	一 藤堂中将公上	享和元年	六
0648	一 井伊中将外二名公上	享和元年	七
0650	一 前田宰相中将外四名公上	享和元年	八
0653	一 加藤能登守公上	享和元年	九
0654	一 黒田少将外二名版籍奉選ヲ請フ	享和元年	十
0656	一 徳川三位中将外八名公上	享和元年	十一
0660	一 土井淡路守公上	享和元年	十二
0661	一 酒井雅樂頭外二名公上	享和元年	十三
0663	一 青山左京大夫外一名公上	享和元年	十四
0664	一 柳澤甲斐守外二名公上	享和元年	十五
0665	一 池田但馬守外一名公上	享和元年	十六
0666	一 稻葉侍従公上	享和元年	十七
0667	一 浅野少将外四名以上	享和元年	十八
0670	一 大河内刑部大輔外十九名公上	享和元年	十九
0683	一 水野越前守公上	享和元年	二十
0684	一 阿部主計頭外十三名公上	享和元年	廿一
0689	一 本庄宮内少輔外五名公上	享和元年	廿二

マイクロ
フィルム
番号

0691	一 吉井左兵衛尉外三名公上	享和元年	廿三
0693	一 小笠原中務大輔外七名公上	享和元年	廿四
0697	一 伊達龜三郎外一名公上	享和元年	廿五
0698	一 土屋相模守外四名公上	享和元年	廿六
0700	一 前田彌松外二十六名公上	享和元年	廿七
0708	一 松平主務頭外一名公上	享和元年	廿八
0709	一 久松大藏少輔外二名公上	享和元年	廿九
0711	一 松平大和守外二名公上	享和元年	三十
0713	一 上杉式部外九名同上	享和元年	三十一
0718	一 徳川少将外二十名公上	享和元年	三十二
0726	一 牧野全九公上	享和元年	三十三
0727	一 松平伊賀守公上	享和元年	三十四
0728	一 平野遠江守外一名公上	享和元年	三十五
0729	一 奥平美作守外七名版籍奉選ヲ請フ	享和元年	三十六
0732	一 佐竹中将外十名公上	享和元年	三十七
0736	一 堀田相模守外九名公上	享和元年	三十八
0739	一 水野大炊頭外九名公上	享和元年	三十九
0742	一 秋田信濃守外七名公上	享和元年	四十
0745	一 井伊右京亮外一名公上	享和元年	四十一
0746	一 榊原式部大輔外十名公上	享和元年	四十二
0749	一 南部雄磨公上	享和元年	四十三
0750	一 保科弾正忠公上	享和元年	四十四
0751	一 相馬因幡守公上	享和元年	四十五
0752	一 蜂須賀中納言外十三名公上	享和元年	四十六
0757	一 戸田備後守公上	享和元年	四十七
0758	一 水野和泉守公上	享和元年	四十八

マイクロ
リール番号

0759

一安藤對馬守公上

至八月九日

五九

0760

一牧野遠江守公上

至五月廿日

五八

0762

一松平播磨守外七名同上

至

至

0765

一近藤用虎外三名同上

至五月廿日

至

0766

一府縣境界木標書式ヲ定ム

至五月廿日

至

0767

一諸藩及舊旗上下地ノ分御料美吟味ノ上

至五月廿日

至

存廢見込開申

0768

一松平三河守元徳川氏假管ノ地所村名等

至五月廿日

至

0769

一管轄内経界周周ノ里程并道路險易等ノ事ヲ諸縣ニ録上セシム

至三月八日

至

第一編 一制度

三九